昭和二十一年七月三十日第三種郵便物認可　昭和二十二年六月一日印刷納本　昭和二十二年六月五日發行　第十五卷　第六號　通卷第百七十三號

EIGA NO TOMO

Magazine for American Movies ★ June 1947

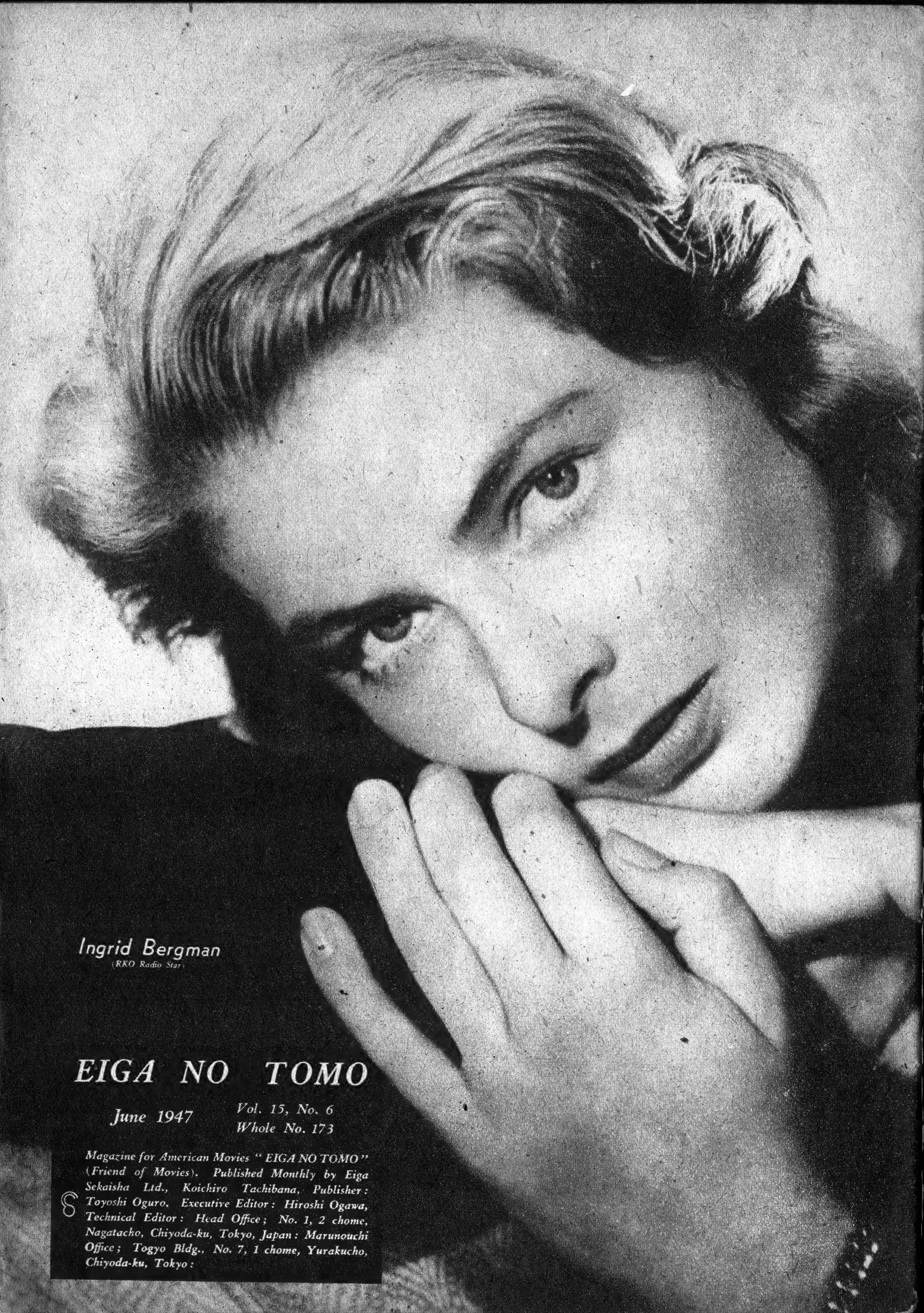


6

映画之友

アメリカ映画專門紹介誌

Olivia De Havilland



Ingrid Bergman
(RKO Radio Star)

EIGA NO TOMO

June 1947
Vol. 15, No. 6
Whole No. 173

Magazine for American Movies "EIGA NO TOMO" (Friend of Movies). Published Monthly by Eiga Sekaisha Ltd., Koichiro Tachibana, Publisher: Toyoshi Oguro, Executive Editor: Hiroshi Ogawa, Technical Editor: Head Office; No. 1, 2 chome, Nagatacho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan: Marunouchi Office; Togyo Bldg., No. 7, 1 chome, Yurakucho, Chiyoda-ku, Tokyo:

最も正確なスターのお齢

女40ともなれば姥櫻、容色頓に衰えるし、50男が二枚目になつて戀を囁いたらとんだナンセンスだが、この自然の法則を無視したのがハリウッドだ。この都の美男美女は不老長生というか、いつまで經つても若く美しい。あんなに美しいコルベエルが42才、「心の旅路」のコールマンが56才とは‥‥以下御參考までに、『**モーシヨン・ピクチユア・アルマナツタ 46—47 年版**』によつて主なる人氣スターの最も正確な年齢を御紹介しよう。

女　優

10才‥マーガレット・オブライエン
15才‥‥‥ペギー・アン・ガーナー
22才‥‥‥‥‥‥ジョーン・レスリー
23才‥‥‥‥‥‥ローレン・バコール
25才‥‥‥‥‥‥ディアナ・ダービン
26才‥‥‥‥‥‥アレキシス・スミス
‥‥‥‥‥‥ベテイ・ハツトン
27才‥‥‥‥‥‥ジーン・テイアニー
‥‥‥‥‥‥ラナ・ターナー
28才‥‥‥‥‥‥ドロシー・マツガイア
29才‥‥‥‥‥‥リタ・ヘイウオース
‥‥‥‥‥‥ベテイ・フイールド
‥‥‥‥‥‥アイダ・ルピノ
30才‥‥イングリッド・バーグマン
‥‥‥ジョーン・フオンテーン
‥‥‥‥‥‥マーシヤ・ハント
31才‥オリヴイア・デ・ハヴイランド
‥‥‥‥‥‥マーサ・スコツト
‥‥‥‥‥‥ベテイ・グレイブル
33才‥‥‥‥‥ドロシー・ラムアー
‥‥‥‥‥‥ヴイヴイアン・リー
34才‥‥‥‥‥‥ロレツタ・ヤング
‥‥‥‥‥‥ソニア・ヘニイ
36才‥‥ジンジヤー・ロジヤース
‥‥‥‥ポーレツト・ゴダード
‥‥‥‥‥‥マール・オベロン
37才‥‥‥‥‥ジョーン・ベネツト
38才‥‥キヤスリーン・ヘプバーン
39才‥‥‥‥‥‥ベテイ・デヴイス
‥‥‥ジョーン・クロフオード
40才‥‥バーバラ・スタンウイツク
42才‥‥クローデツト・コルベエル
‥‥‥‥‥‥マーナ・ロイ
43才‥‥‥‥‥‥アイリン・ダン
‥‥マーレーネ・デイトリツヒ

男　優

25才‥‥‥‥‥‥ミツキー・ルーニー
29才‥‥‥‥‥‥フランク・シナトヲ
31才‥‥‥‥‥‥グレゴリー・ペツク
33才‥‥‥‥‥‥ロバート・アルダ
34才‥‥‥‥‥‥タイロン・パワー
36才‥‥‥‥‥‥ロバート・テイラー
38才‥‥‥‥‥‥エロール・フリン
39才‥‥‥‥‥‥レイ・ミランド
‥‥‥‥フレツド・マクマレー
40才‥‥‥‥‥‥ロバート・ヤング
‥‥‥‥‥‥ジョン・ウエイン
‥‥‥ローレンス・オリヴイエ
42才‥‥‥‥‥‥ジョセフ・コツトン
‥‥‥‥‥‥ヘンリー・フオンダ
43才‥‥‥‥‥‥ビング・クロスビー
‥‥‥‥‥‥ケーリー・グラント
‥‥‥ロバート・モンゴメリー
‥‥‥ジエームス・キヤグネー
46才‥‥‥‥‥‥ゲーリー・クーパー
‥‥‥‥‥‥クラーク・ゲイブル
47才‥‥‥スペンサー・トレイシー
‥‥‥‥‥ハムフリー・ボガート
‥‥‥‥‥‥フレツド・アステア
48才‥‥‥‥‥‥シヤルル・ボワイエ
49才‥‥‥‥‥ウオルター・ピジョン
50才‥‥‥‥フレドリツク・マーチ
‥‥‥‥‥‥ポール・ムニ
54才‥‥エドワード・G・ロビンソン
‥‥‥‥ワーナー・バタスター
55才‥‥‥‥ウイリアム・ポウエル
56才‥‥‥‥ロナルド・コールマン
57才‥‥‥‥‥クロード・レインス











バーグマン・メモ



13才の時、孤兒となる。セルズニツクに招かれて、「間奏樂」(1939年)に出演する前の主演映画「女の顔」"A woman's Face"は國際映画博覧會で1938年度世界優秀映画に選出されている。1936年19才の時ピーター・アロン・リンドストロム博士と結婚。二人の間に一女ピアあり。現在、夫はロサンゼルス總合病院の外科醫である。彼女の家庭思いは有名で、あれ程忙しい撮影に追われながら、仕事以外の時間は全部夫と娘のために費している。娘のピアはつい最近まで、母親が女優であることを知らなかつたくらいだ。それ程彼女は家庭的な女性である。

監督のチヤムピオン

アカデミー監督賞を3回得た監督は？

——フランク・キヤプラとジョン・フオードの2人。キヤプラは「或る夜の出來事」(34年)「オペラ・ハツト」(36年)「我家の樂園」(38年)で、ジョン・フオドは「男の敵」(35年)「怒りの葡萄」(40年)「わが谿谷緑なりし」(41年)で、それぞれ同賞さ回得ている。

この2人に次いで同賞を2回得た監督に、古くはフランク・ボザーギ、フランク・ロイド、近くはレオ・マツケリーとウイリアム・ワイラーの4人がいる。映画を決定するのは監督だ。マツケリーには「我が道を往く」で接したが、キヤプラ、フオード、ワイラーの作品をまだ見られないのは淋しい。



EIGA NO TOMO *Style*



Dorothy Lamour
(Paramount Star)

ドロシー・ラムアー……1914年12月10日、ルイジヤナ州ニユー・オリーンズに生る。今年33歳。眼はグレイ、頭髪はブルネツト、身長5呎5吋。1931年「ミス・ニユー・オリーンズ」に選ばれる。最初はラジオ・シンガーだつたが、1936年はじめて映画界に入る。「ベニーの勲章」で久し振りに見た彼女は以前より綺麗になつたようだ。近作にクロスビーと共演の「リオへの道」、「私の好きなブルネツト」等がある。ウイリアム・ロス・ハワードと結婚。



Joan Fontaine

(Universal-International Star)

ジョーン・フオンテーン・・・1917年10月22日、東京に生る。今年30歳。眼は淡いブラウン、頭髪はブロンド、身長5呎3吋半。幼少カリフオーニアへ歸つたが15歳の頃再び東京へ來て1年餘滯在。1937年、20歳の時映画界に入る。近作にクロスビーと共演の「皇帝圓舞曲」、サム・ウツド監督の「アイヴィ」、ペツクと共演の「ジエリコの壁」等がある。プロデユウサーのウイリアム・ドジアと結婚。

にあつては特に脚色者が重要な役割を果しているのだ。

「ミニヴァー夫人」は四人の脚色者によつて映画的潤色が施され、一貫したストーリイがミニヴァー夫人と良人クレムを中心にして構成されている。この四人は、ロンドン・フィルムで「ヘンリイ八世の私生活」を脚色した英國出の**アーサー・ウインペリス**、一九四四年に「ドーヴァー海峡の白崖」を脚色した英國出の**ジョージ・フレエッシエル**、物語作家として一流であり「キューリイ夫人」の脚色にもたずさわつた**ジエームス・ヒルトン**の三人にM・G・M社の幹部脚色者として「大地」「メアリ・アントワネット」を物した**クロオダイン・ウエスト**が加つて映画台本を作製した。その成果は非常にすぐれたものであるらしく同年度のアカデミイ脚色賞は此等の四人に與えられているのである。

此處に紹介された場面寫眞にあるような情景は原作にはない。原作の背景となつているのは戰爭に入つた當時のロンドンとミニヴァー夫妻が子供を連れて時々避暑などに行くスターリングスという田舎であるが、當時は獨軍の空襲を未だ蒙つてはおらず、作品の中にも戰時色は感じられず、むしろ平和な氣分が描寫のなかに浸み出ていて絶望感などは微塵もない。映画化された内容の材料がないので殘念だが、映画では、年代的にすこしずらし、空襲がはじまつてロンドン市内が地下壕に避難しはじめた頃を背景にして、ミニヴァー夫妻の仲の睦じさと彼等の身邊雜事をスクリーンの上に描き出したことゝ想像される。四人の共同脚色者は、ミニヴァー夫人の性格と漠然とした雰囲氣が彼等に與えた映画的ヒントだけで、一篇のすぐれた物語を構成したのだ。最近のアメリカ映画に關聯して特に感じられることは、脚色者の頭腦的閃きは、その經驗と實力とで、何でもない材料から、すぐれたシナリオを用意してみせる想像力の旺盛さを示している。

その好例が昨年度のアカデミイ賞映画「失われた週末」であり映画化されたチャールス・ジャックスンの原作からは餘程腕に自信がある者でない限り映画化するに適した材料は發見出來ない。ロベルト・ジオドマークが映画化したアーネスト・ヘミングウェイ原作「殺害者」もコントに近い短篇で原作にある情景は最初の二、三のシーンですんでしまう。殘された部分は原作からヒントをうけた物語である。最近のアメリカ映画の優秀作品の多くが内容的にみて脚色者の想像力の豐富さ如何に左右されているという傾向は明かに見逃せない事實だ。

原作によつて「ミニヴァー夫人」の映画的の物語を書き得ないため、詰らぬ傍道に逸れたが紙面の餘白が少しあるので、原作の一部を次に抄出しておこう。

× × ×

一月十二日になつた。デコレエションは片附けられ、クリスマスは旅券寫眞の帽子のように時代遲れの感じがした。だのにミニヴァー夫人はまだ備忘帖を買つてなかつた。



毎年のように、ロンドンを發つてスターリングスへ行く前に買う筈だつた。だが例によつて忙しかつた。一すした暇をみて買えばよかつた。こまごましたものでは備忘帖が最も日常生活と關係が深い。それには一年の初めから終り迄の雜事が滿ちている。それは些細なことだ。だが内輪のことは、また非常に重要である。櫛、歯ブラシ、スポンヂ、眼鏡ケース、萬年筆は注意ぶかく撰ばねばならない。どれも使つている間に、生活の一部となり、息が通つた生き物のように映つてくる。勿論、感覺は賦與されていない。しかし、爪や頭髪も感覺はないと云えるではないか。また、これらの物品は氣に入らなくなれば棄てることも出來るし、壞してしまうことも出來る。そうかといつて、如何なる金持も新しいスポンヂを火にくべることはしない。厭な恰好だと思つても使う。そのうち擦り果すか、ホテルへ忘れて來て了うといつた風に重寶に出來ている。

だが備忘帖は、使い出したら、そういう具合にはいかない。棄てるわけにいかず、新しい備忘帖に書き直す手間も大變だ。

一月の中頃、スターリングスで歯醫者へ行く途中、ミニヴァー夫人は一軒の文房具店に立寄つた。そして色々な日記帖のある棚の前で、氣に入つた備忘帖を探して買おうと思つた。

彼女が手にした最初のは緋色のモロッコ革製の綺麗なものだつた。ところが見開き二週間分書込みという可笑しな風に頁を割當てゝあつた。どうして二週間という可笑しな月日の區切り方をしたのだろう。生活は一日が單位になつていて、人間の意識が失われ、再び呼び醒されるという驚くべき現象によつて毎日が繰返されていく。しかし、備忘帖としては一日分が二頁分あるのは多すぎる。ミニヴァー夫人は見開き一週間の備忘帖が欲しかつた。

だが、その種類のは三冊しかなかつた。赤い模造革の表紙、茶色の犢革の裝釘のもの、綠色の蜥蜴革製のもの。彼女は模造革のはよした。以前安物を買い一年間不愉快にすごしたことがある。蜥蜴革のは七志六片で高すぎた。彼女は三志九片の茶色のを買うことにした。小型で手觸りはよし一年間のよい伴侶となるであろう。

× × ×

だがミニヴァー夫人は買つた後で、綠色の高い備忘帖が欲しくなり取換えに行く。そして歸りの汽車の中で、餘白の頁に簡單な覺書を書き記すのである。

植草甚一

「ミニヴアー夫人」は一九四二年度につくられた最優秀映画として一九四一―四二年度のアカデミイ賞を授與された映画である。同時にこの映画を提供したM・G・M社では故アーヴィング・サルバーグを記念して毎年最もすぐれた作品を發表した同社の製作者に對して授與されるサルバーグ・メモリアル・アヷードを「ミニヴアー夫人」「心の旅路」の製作者シドニイ・フランクリンに與えた。「心の旅路」も最近の傑れた作品で、ベストセラーになつたジェームズ・ヒルトンの興味深い物語をロナルド・コールマンとグリア・ガースン主演で映画化したものである。また「ミニヴァー夫人」には同年度の女優演技賞、監督賞、助演賞、脚色者賞、撮影賞という風に合計七つの記念賞が與えられており、名實ともに最近の傑作映画中の白眉と云い得るものだ。

題名のミニヴァー夫人を演じたのはグリア・ガースンで女優演技賞を獲得した。ミニヴァー夫人の良人クレムにはウオルター・ピジョンが扮した。御承知の通り、この二人は「キューリイ夫人」で顔合せをして、お互いに理解し合つた睦まじい夫婦仲を見事に演じていた。「キューリイ夫人」は一九四三年度作品であるから、「ミニヴァー夫人」は二人の最初の顔合せ映画でもある。もうひとつ特筆することは「疑惑の影」に出演してゐるテレサ・ライトが助演者として重要な役割をしていることだ。彼女はこの映画で助演者賞を獲得している。

監督は名匠ウイリアム・ワイラーで監督賞を與えられた。ワイラーが「孔雀夫人」「デッド・エンド」で比類ない演出技巧の冴えを示したことは未だ記憶に新しい。其後の監督作品で未輸入のものに「嵐ケ丘」「少さい狐」・「メンフィスの美女」「サンダーボルト」があり、いずれも傑作と稱されているが、特に最近の監督作品「我等の生涯の最良の年」で作品賞、監督賞をはじめ四六年度アカデミイ賞を九つ與えられているのは周知のことで、十年に一本出るか出ないかの傑作として激讃の的となつている。

さて、映画の原作だが、その内容は、ミニヴァー夫人が、日常生活の出來事をスケッチした短い隨筆を合計三十六篇集めたものであり、そのスケッチのどれにも事件と云えるような出來事はなく、また全體が一貫した筋を持つたものでもないので、普通の場合ならば映画化には不適當な材料だ。一九四〇年一月にジャン・ストラッサー作「ミニヴァー夫人」が英國で出版された時、作者の洗練された筆致と鋭い觀察眼とで書きつづられたこのスケッチ集は非常な好評を博し、幾度となく版を重ねた。あたかも最近アメリカで非常に賣行のよいベテイ・マクドナルド作の隨筆的な生活記録「卵と私」を想わせるものがある。これはクロオデット・コルベエルとフレッド・マクマレイ主演でユニヴァーサル・インタナショナル社が映画化しているが、この作品にも特に一貫したストーリイはないのである。暗い生活を獨自のユーモアと機智とで明るく描いた點が教養的な讀者層に喜ばれたのであつて、同じ女流作家によるベストセラーでもカサリン・ウインゾアの「永遠のアンバー」やナンシイ・ダフの「マナテ」のように大衆の好奇心をねらつた煽情的な筆致はみられず、あくまで地味で素朴で洗練されている點も「ミニヴァー夫人」と一脈通じるものを感じさせる。

ミニヴァー夫人の生活記録は次のように極く單純である。田舍から歸つた日のこと、新しい自動車を買つたこと、ガイ・フォーク祭の花火の印象、クリスマスの買物女中のこと、スコットランドへのドライヴ、ガス・マスクの配給、新年を迎える夕べ、歯醫者へ行つたこと等が奇をてらわない文章で書かれてある。出てくる人物もクレムという建築家の良人、ヴィンとジュディとトビイという三人の子供ぐらいで、あとは親戚のひととか近所のひととかで、いずれも重要な人物ではない。それにも拘らず、讀んでいるときに、ミニヴァー夫人から受ける親しみの感じは、小説の主人公から受ける感じとも異つたところの實に生き生きとしたものである。要するに「ミニヴァー夫人」にはミニヴァー夫人というイギリス婦人の性格が描かれていて、これが作品の唯一の特長なのだ。こうした一見映画的でない材料から最もすぐれた映画がつくられたことは充分研究すべき問題である。俳優の演技、監督の手法にも係つているが、この映画



話題の名作・誌上プレヴュウ

ミニヴアー夫人

Mrs. Miniver

シヤン・ストラツサー 原作
ウイリアム・ワイラー 監督
グリア・ガースン
ウオルター・ピジヨン 主演
テレサ・ライト

MGM映画

1942年度アカデミー賞の作品、監督、脚色、主演並に助演女優演技賞等、七つの賞を得た名作

しまう危險性があるが、マーヴィン・ルロイの演出はそれ程深刻がらず、といつてがつちりと落着きを見せて、適度の甘さとロマンティシズムとをもつて說き進めている。彼の監督作品である「キューリー夫人」を見ても解るように、彼は人間の懊惱の底を衝くといつた深味のある演出を見せる監督ではないが、物語作家としては立派な腕前をもつている。最初の病院の描寫にはじまつて、男が病院を脫け出して休戰の喜びに湧く町を彷徨い乍ら女と邂逅するまでの演出は特に傑れている。それに映画では無理や虛構に氣がつき乍らも、いつか映画のもつロマンティックな雰圍氣の中に誘い込まれて、いつどんな具合に男が忘れた記憶を呼び起すかという一事に興味を惹かれて行く。

こうした雰圍氣に浸らせるめは、ルロイの達者な演出の他に、ガースンとコールマンの洗練された味と演技とがあずかつて力がある。コールマンの英國紳士としての澁い品位も捨て難く、またガースンの眞珠のような美しさとリファインされた演技もまた格別である。尙ガースンとルロイとのコンビによる映画には、最初が「塵に咲く花」"Blossoms in the Dust" そしてこの「心の旅路」それから「キューリー夫人」と、既に三本ある。

特異な物語を扱つて誰にも理解され、そして快い甘さとロマンティシズムをもつた映画として、ファンには歡迎されるだろう。「エイブ・リンカン」や「我が道を往く」とはまた違つた意味で、アメリカ映画の良き一面を見せた映画である。（M・G・M映画）

アメリカ映画に描かれた女性

坂西志保



娛樂のための映画は人生の夢を描き出し、苦しい現實から逃避出來るものでなければ、という考えが長い間支配していた。從つて映画に描き出される女性は、日常の生活から恐しくかけ離れ、華やかで、常識となつている道德などにとらわれず、飮めよ、踊れよとはしやいでいた。社交界の貴婦人か、蜂が花を求めて飛びまわるように、新しい戀人を見つけて步いたり、貧しい花賣娘が金滿家に嫁いだりする。每日事務所の床をとすつている女や貧乏世帶のやりくりに疲れた主婦は、僅かの小遣いをさいて、數時間の間自分を忘れ、女王になつたり、豪しやな生活を享樂する。女と生れて幸福、繁榮を願わぬ者はないし、不幸にしてそのような運命にめぐり會わなければ、映画を通じて、夢を見るのである。

然し、最近は映画に對する考えも變つて來た。單なる娛樂でなく、社會的意義のある生活、個性のある女性を描き出したものが出て來た。小兒麻痺病に新治療法を案出したシスター・ケネーの一生を描いた映画はこのよい一例で、ロザリンド・ラッセル孃がこの大役を引受けている。醫者や學界の迫害にもかかわらず、自分の信念に基ずいて、人類のため愛人も物質的の名譽も成功も放棄したケネー女史の人格をよく現わして、觀客を感激さしている。女史は今日存命中で、この忠實な描寫に非常に滿足していられる。逃避ではなく、苦闘の現實が民衆に喜ばれるようになつた。

八年間苦勞したあげく、ローリング女史の小說「イーアリング」を映画化した仔鹿を中心とした映画が完成した。ジェーン・ワイマンが貧しい百姓の妻の役を演じているが、地味なほんとうの女らしさを現わして感激されている。今日アメリカ人の映画に求めるものは眞面目な、人間味のある、大地に足をしつかりつけ、どんな苦境も切り拔けられる信念の女性と彼女の實生活とである。自由を放縱とはき違えた時代はすぎて、今映画には盛んに健全な女性が描かれている。

（筆者・前ワシントン圖書館東洋文化部）

（カツト——ロザリンド・ラッセル）

百萬人の音樂

Music for Millions

山本恭子

この映画は「迷える天使」や「綠のそよ風」で我々のお馴染になつた名子役、マーガレット・オブライエンの主演作品で、一九四四年度というその製作年度が示しているように、戰時中に製作されたアメリカの所謂銃後生活を題材にしたものなのである。

コンサート・ピアニストとしてまた名指揮者として實際にアメリカで知られているホセ・イタービの指揮している紐育のマンハッタン交響樂團、そこでコントラバスを彈いているバーバラ（ジューン・アリスン）は、夫ジョウを戰地へ送つている。そして彼女はジョウとの間の子供を姙ごもつているのだが、夫からは數ケ月間何の便りもない。もしや戰死したのではあるまいかという疑念が彼女にはきざし始めて、それが彼女の身心をさいなんでいる。そこへ彼女の幼い妹マイク（マーガレット・オブライエン）が、小さい體に大きな洋傘とスーツケースをさげて、單身田舍からバーバラをたよつて出て來る。都會生活の姉とちがつて、マイクは信心深い。姉の惱みと出産を知つた彼女は、小さい體でジョウが無事に歸つて來るまでは姉を護り通そうと決心する。バーバラの周圍の人々——まず交響樂團の指揮者イタービ（イタービ自身）その秘書のアンドリウス（ジミイ・デュラント）バーバラの同僚のロラリンド（マーシャ・ハント）、マリー（マリー・ウイルソン）をはじめ、若い女流樂師たちが、みなマイクと一緒にバーバラをいたわり、慰めようとそれぞれに心をくだくのである。そうした銃後の生活の、所謂心暖まるような情景へ、イタービ交響樂團の演奏會や、練習の場面、ジミイ・デュラントの即興的なジャズ・ピアノ、イタービのピアノ・ソロなどによる音樂をあちこちに手際よく、ふんだんに織り込んで「天使の花園」以來、製作者ジョウ・パスタナックと組んで澤山のダービン映画を手がけた監督ヘンリイ・コスターは、これを破たんのない、むしろ美しいと云うことの出來る佳篇に作りあげている。

俳優は、マーガレット・オブライエンが、相變らずあまり出しやばらぬ動きかたをして好感が持てる。ディック・ポウエルと結婚してアメリカでは相當賣出しているジューン・アリスンは我々には始めての登場。彼女の持味は average American Young girls（一般的なアメリカ娘）を代表するもので、男優のヴァン・ジョンソンの持つ人氣と同じものがあるのだろうと思われる。鼻のデュラントで以前のMGM映画であばれていたジミイ・デュラントが、紐育の舞臺生活ですつかり嫌味なものを洗いおとしたいゝ藝を光らせている。（M・G・M映画）

ガス燈

Gaslight

登川直樹

迷宮入り殺人事件の犯人が被害



心の旅路

試寫室から

我等の町
Our Town

双葉十三郎

もう七、八年にもなるが、ソオントン・ワイルダアの「我等の町」が映画化されるときいたとき、いちばん興味をひいたのは、解說者と小道具をどう扱つているかという點であつた。原作では、解說者は舞臺監督で、この人物が舞臺の狀況を說明し、人物の出入りも統制するかたちになつている。が、それよりも著しい特徵は、舞臺がまる裸で、裝置の類は二、三の椅子ぐらいなもの、小道具も殆んど使用されず、俳優は身ぶり手ぶりでそれと知らせる。つまり、背景も小道具も、すべて觀客の想像力に任せてあるのである。こゝに舞臺という空間的な制約がとりのぞかれ、想像による場面のひろがりが生れ、抽象的なテェマをうかびあがらせるのに頗る都合のよい條件が與えられることになる。要するに、舞臺劇としても、これは甚だ大膽な試みであり、その形式の獨自性によつて作品の生命が輝いているといつてよいのである。

が、この映画化されたものは、けつきよく映画の從來の形式から脫することが出來なかつた。この舞臺劇を採り上げた勇敢さには大いに敬意を表したいが、こちらからの注文を出せば、どうせやるならもうひと息ふんばつて、形式の上にも工夫を示してもらいたかつた、といいたいところなのである。映画では、右に述べた形式の特異さを棄てて、普通の作品と同樣、背景や小道具の類を用いている。たゞ、殆んど全部がセットであることが、特色といえば云える。が、そのために、原作の想像を通しての具體性と、それを利用しての主題の抽象性が失われてしまつた。解說者も普通の意味でのリアリズムにおきかえられているのである。原作の扱いにもそれが現れている。原作では舞臺監督だつたが、映画では町のドラッグ・ストアの主人にされている。

けれど、いちばん意外に感じさせられたのは結末である。映画では、女主人公を演ずるマアサ・スカットの夢になり、彼女が眠ざめて、いままで氣付かなかつた現實生活の一瞬ごとの重要さを知るというふうになつている。原作とは逆である。

以上、御參考までに原作との比較を述べたが、映画だけ切りはなしてみても、これは相當にわかりにくい形式を持つた地味な作品である。それだけに面白さもふかい。一見の價値は充分ある。（ユナイテッド社提供）

心の旅路
Random Harvest

大黒東洋士

新しく輸入されたアメリカ映画は、數の少い割に、肩の張つた映画が多い。味の良し惡しは別として、からいものを食べた後で甘いものが欲しくなるように、たまにはアメリカ映画らしいとろりとした上等の甘さとか、品のいゝロマンティシズムといつたものが戀しくなる。映画はこの甘さやロマンティシズムを基盤として育つたものだから、糞リアリズムや妙に深刻癖に取りつかれた者はいざ知らず、私は映画を作る上で、この甘さと、ロマンティシズムはかなり高く尊重すべきだと思つている。

「心の旅路」はこのような甘さとロマンティシズムで裝われた映画として、久し振りに私を樂しませてくれた。これは特異な題材を扱つたものだ。

第一次大戰の末期、戰傷のため過去の記憶を全く失つた男が一女性と愛の生活を營むうち、ふとした事故で意識を失い、漸く氣のついた時、戰傷した時を境いとして、それ以前の記憶は蘇るが、今度はそれ以後の記憶が、つまり彼が戰傷を受けて收容された病院生活から女との交渉、そして事故によつて昏倒する迄の第二の記憶が完全に消滅してしまうというのだから、誠に手がこんでいる。その上、生家に歸つた彼は、間もなく實業王といわれるくらいの人物となるが、その彼の祕書として現れるのが過去を祕めた以前の女だ。女は男の記憶を呼び返そうと手を盡すが、映画はこの二人の奇妙な關係をめぐつて、いつ男が氣がつくかといつたサスペンスをはらんで話を進めて行く。

これは「失われた地平線」「鎧なき騎士」「チップスさんさようなら」の原作者ジェームス・ヒルトンの小說「ランドム・ハーヴェスト」をマーヴィン・ルロイが監督したもので、主演はグリア・ガースンとロナルド・コールマンである。

このような物語は扱い方が拙かつたら收拾のつかないものになつて

アクーニャ（アドルフ・マンジュウ）の部屋で、ステッキを使つて、タップまじりで獨りで踊るところに、一番發揮されているが、ヘイワースが相手だと、彼女がタップがふめないばかりに、彼の踊りの面白さが半減されてしまい、そのほかの踊りにしても、ヘイワースにはアステアの才氣について行くだけの輕快なニュアンスがない。嘗てのアステア、ロジャースの踊りは、はるかにスピードがあり、ウイットに富み、その面白さは到底この作品の比ではなかつたことを、新しい映画ファンのために、特に言い添えて置こう。

それに、こゝに取り上げられたような、アステアが七轉八起の心臓男で、まわりの仕組んだ冗談から駒が飛び出し、男ぎらいで通つた女がいつか戀の虜となつて、互に愛し合つた二人が、いざというときになつて、一度もつれて、最後に結局結ばれるというお膳立ては、あまりに型通りで、嘗てのアステア映画を見なれた者には、容易に先が見え透いてしまい、意表に出て僅かに面白いのは、銀婚式の日に、アクーニャの書いた手紙から妻君が嫉妬し、とんだ大騒ぎとなりかけるくだりぐらいなものである。

踊りたりぬアステアの演技については、とやかく言うだけ野暮なこと、獨特の豐委で賣出しのヘイワースも、はじめの「冷藏庫のような女」という役どころはいかにもがらに合わず、踊りのもの足りなさをせいぜい凝つた衣裳でカヴァーしようとしているが、それにしてはカメラ・ワークも、撮影效果もあまりに平凡である。（コロムビア映画）

ベニーの勲章

A Medal for Benny

飯田心美

「ベニーの勲章」は、一九四五年にパラマウントから發賣された映画だそうだが、戰爭が單純な人間の氣持に作用する有様を皮肉に描いてゐるといふ點に特色をもつた作品である。

物語を書いたのは「怒りの葡萄」「廿日鼠と人間たち」等の小説の原作者として有名なジョン・スタインベックと「踊る海賊」のジャック・ワグナーの二人で、彼等の合作になるものから「我が道を往く」でアカデミー脚色賞を獲得したフランク・バトラーが脚本をまとめている。スタインベックの鋭い現實凝視の眼は、この作においては多分に甘味をほどこされ、全體の出來は毛色の變つた通俗劇以上には出ていないけれど、それでもよく見てゆくと穿つた觀察が所々に窺えて、原作者の片鱗をちらりと覗かせる。卷頭のタイトルには、此の物語の舞臺となつた土地の説明が行われている。即ち、こゝに出てくるパンテラという所は、カリフォルニア州の一隅に存在する小さな海岸町で、こゝの住民の大部分を占めるパイサー人というのはスペイン系移民とインデアンとの混血であり、正直で單純な彼等の氣質を土臺として持上つた事件が描かれた、という斷り書がしてある。

こゝで語られる主な出來事は三つあり、その一つはベニーという人物に關するもので、かつては町の不良青年だつたベニーが兵隊に志願し戰場で手柄をたてて死んだことから英雄に祭り上げられるという話、しかし、この若者は画面に出されないで過去の人物として扱われている。そのつぎはベニーの許婚だつたロリタという娘がベニーの死後、その不誠實に氣がついて憤慨して、もう一人の男ジョーを愛するようになる。ところが世間の眼はロリタを英雄ベニーの不變の愛人として特別扱いし、彼女の心境の變化をみとめようとしない。ロリタは天下晴れて自分の戀を公表も出來ないやうな窮くつな立場に追込まれるという話。そしてもう一つは町の有力者たちの企んだ腹黒いこんたんによつて死んだ勇士ベニーの父が金儲けの道具に使われんとする話。そのいずれも戰爭によつて惹き起された出來事であり、戰時における狂信的な感情が個人の生活に異變をもたらす狀態を皮肉に描いたものゝようである。

だが全體の出來から見ると、この皮肉味も監督にあたつたアーヴィング・パイチェルの演出力の鈍さによつてイキイキとは示めされていない。演出の焦點もハツキリしていないし、筋の大半が會話ではこばれているので作者の意圖をつかむのに骨が折れる。場面の數は割合に多く、動きとしては喜劇的な處理もあり、漫然と見ていれば退くつはさせないが肝腎の急所がボヤけてしまつているので見終つてからの印象は稀薄である。

この映画における見どころと云えば、主役ロリタに扮するドロシー・ラムーアと彼女の愛人ジョーに扮するアーチュロ・デ・コルドヴァの奇妙な愛情の經路であろう物語の始めベニーへ變らぬ愛を抱いていたロリタのまえに隣町の蓮葉女が現われ、その女の口からベニーの移り氣な性質があばかれたゝめにジョーの求愛に應じるようになる。この愛情の獲得に苦心するジョーという男の眞面目とも不眞面目ともつかない性格も變つている。ジョーに扮するアーチュロ・デ・コルドヴァは新人であつて「誰がために鐘は鳴る」に出た俳優、ほかにキャロル・ナイシュ、フランク・マクヒューの老練がつきあつている。

（パラマウント映画）

金的を射とめた兩腕のない俳優



アカデミー賞をとつた「我等の生涯の最良の年」で助演男優演技賞と特別賞とを得たハロラド・ラッセルは、この映画の中で兩腕を失つた水兵の役を演じて居るが、この映画は彼自身の物語でもある。彼は陸軍に服役中、事故のために腕を二本とも失い、鐵製の「カギ」を兩腕につけて歸宅した。通常、腕を失つた男にとつて、將來は暗黒であるが、ハロルド・ラッセルにとつて、腕を失くしたことが、新しい豐かな生活の始まりとなつている。戰後における復員軍人の市民生活へ戻る問題に對して意味深い示唆を與えている點において、この映画ほど價値のあるものはないというのがこの映画に對するアメリカ輿論の聲である。一方、ハロルド・ラッセルはいう、「腕をなくした自分に二つ素晴らしいことがおきた。一つは幼なじみの女性との結婚で、他の一つは映画俳優になれたことだ」と。軍隊にはいる前、肉屋さんだつた彼は、コチコチに肥つた顔で「カギの手」を使いながら、普通の人間と同じように日常の用をたしている。彼は將來、廣告業者になろうとして、今、ボストン大學でその方面の研究にいそしんでいる。彼の結婚は一九四六年二月、「我等の生涯の最良の年」の撮影中に行われた。「わが生涯の最もよき日」を「我等の生涯の最良の年」のうちに迎えた彼の喜びは想像に餘りある。結婚式後、彼等夫妻はサミュエル・ゴールドウイン氏主催の宴に列つた。

同氏はラッセルがボストン大學で廣告學を修了した後は、ニューヨークにある同氏のオフィスで彼に宣傳を擔當してもらうつもりだ、といつている。（島照）

者の姪と結婚して被害者の家に移り住み、家の中の物の位置を變えて怪しむ妻を氣のせいだと思い込ませて遂に氣狂いにし、被害者の遺産盗みを働こうとするのを、最後にすべてが露見するという物語のこの映画は、原作が舞臺劇だけあつて場面の構成は單純で、描寫の中心は二人の心理的な相剋に置かれている典型的なスリラーである。

スリラーの常として、ここにもボアイエの演じる犯罪があるが、問題はその犯罪者の心理ではなくて、その相手の恐怖心理のデリケートな描出である。最初は何も知らないあどけない妻が次第に自分の精神が狂つているのかと疑い出し、その自分をますます追いつめてゆく夫に恐怖を感じて遂に全く發狂する寸前迄を、バーグマンの演技は精緻に表現してみるものを驚かす。觀客は當然ボアイエよりもバーグマンの聰明で微妙な表情の一つ一つに興味をもつことができるし、ジョセフ・コットンの探偵が觀客の味方になつてからその感興は倍加する。最後にボアイエが縛についたとき、發狂寸前の狀態から正氣にかえつてゆき、哀願する夫を面罵するバーグマンの演技は、スリラー通有の物語の嘘を考えているすきを與えない充實したものである。彼女はこの演技で一九四四年度のアカデミイ女優演技賞を獲得したそうだが、まさにそれに値する見ごたえのあるものだ。

屋敷、手紙、ブローチ、額、時計、ガス燈等々のキッカケをばらまいた脚本の構成は「たそがれの維納」のウォルター・ライシュなど三人の脚本家の才腕になるものであるだけに充實した技巧は端正だが、ジョオジ・キューカーの演出は器用さ以上のものは認め難い。所詮は技巧の勝つた精緻さを買う心理映画と言うべきであろう（M・G・M映画）

ジェーン・エア

Jane Eyre

飯島正

映画はそれがつくられた時代と離すことのできない關係があるから、作品を獨立に（しかも外國で）鑑賞することは、作品にとつて忠實でない。ことに、「ジェーン・エア」のような作品に對しては、そういう注意がいる。

おおくのひとが知つているように、これは、イギリスの女流小説家シャロット・ブロンテェの傑作「ジェーン・エア」を映画化したものである。日本譯もでているから、内容を知つているひとも澤山いるだろう。孤兒としてのくるしい生活をおくつたジェーンが、年ごろになつて、上流家庭（ロチェスタア家）の家庭教師になるが、そこの主人というのは、世をすねた偏屈な男で、家のなかにはいつも、陰慘なくらい影がさしている。だが、世の僞善に反抗するジェーンのつよい情熱が、主人の心のなかに純眞さを見いだし、二人がたのしい新婚の生活にはいろうとしたとき、男には、氣ちがいの妻がいたことがわかり、破談となる。しかし、その後、幽閉されていた狂女が、火事をおこして燒け死んだので、二人は一緒になることができたが、男はそのとき火事のために失明していた。——というのが大體の筋である。

くらい陰慘なこの小説のなかに、一本筋金のようにつらぬいて、光彩をはなつているのは、極端から極端にはしるジェーンの情熱で、しかもそれが、現實的に描寫されているのが特徴である。そこに力點をおいて映画化すれば、原作の味が出たかも知れないが、映画は多少それとは、おもむきがちがつている。



一九四四年（この映画のつくられた年）といえば、アメリカでは「レベッカ」以來のスリラァ的傾向がさかんな時代である。そこで、謎のようなロチェスタアという男と、その家庭の陰慘な雰圍氣が、スリラァ的な意味でとりあげられたのである。ぶきみな感じを出すためか、氣ちがいの妻は、ついに画面には出てこない。それに、ロチェスタアに扮するのは、ぎりぎりした藝風の名優オオスン・ウェルズである。主役ジェーン・エアのジョウン・フォンテインが、神經質な女に適しているのは、「斷崖」あたりでもよくわかるが、これは、どちらかといえば、ジェーンの性格よりも、スリラァ的雰圍氣の描寫に全力をそそぎかつ人物の力點は、フォンティンよりも、ウェルズに移動している映画である。それゆえ、この映画で見るべきは、まずオオスン・ウェルズのなんともいえないふしぎな力のこもつた豪壯な演技であるが、それと同時に、描寫としてはジェーンの少女時代の生活が、まだなかなかいい。映画的にいえば、この方を、ぼくはとりたい。監督者ロバアト・スティヴンスンの手腕は、むしろそこによくでていた。少女時代のジェーンに扮したペギイ・アン・ガアナア、ロチェスタアの養女に扮したマアガレット・オブライエン、この二人の子役の演技は見つけものである。撮影のジョオジ・バアンズもいい。（二十世紀フォックス映画）

晴れて今宵は

You Were Never Lovelier

清水晶

フレッド・アステアがジンジャー・ロジャースと組んで、スクリーンせましと踊りまくつた「空中レビュウ時代」から「カッスル夫妻」に至る一聯の作品は、アメリカ映画を愛する者にとつて、永遠に忘れることの出來ない金字塔であつた。ところが、その後、ロジャースは、單なる「踊る女優」から、本格的に「演技する女優」へと轉じて、このコムビは解消され、そのかわりに、アステアが新たに今賣出しのリタ・ヘイワースと組んで作つたのが、この映画である。監督のウィリアム・サイターは、嘗てアステア、ロジャースのコムビ作の一つ「ロバータ」を手がけたこともあり、ほかにもいくつかの小味のきいた都會喜劇を残しているが、この映画では、肝腎のリタ・ヘイワースが、踊つてはさすがにロジャースにはるか及ばず、それがひいては一緒に踊るアステアをもひどく手びかえさせる結果となつてしまつていることが、この種の作品としては何よりも先ずもの足りない。アステアの才能は、

五千萬弗で、三九年に比し三八パーセントの増加であるが、本數は二四パーセント減少して居る。

然し四六年度には全米の興行収入は二十億弗を超して新記録を作り、毎週の觀客は八千五百萬人に達した。又七大映画會社の純益合計は一億一千五百萬弗で、四五年の六千三百萬弗に比べると二倍に近い。一九四〇年には七社の純益合計は一千九百萬弗に過ぎなかつた。この純益激増については、外國からの利益が約一〇パーセント増加した事が與かつて力があるそうである。

然し四七年度は必ずしも樂觀を許さず、過去三ケ月間の興行収入は減少の傾向を辿り始めたので、ハリウッドの各撮影所は躍起となつて支出減少に努力し始めた。

佛土重來を期す
アレキサンダー・コルダ

英國映画は**アーサー・ランク**に牛耳られて居るが、ランクを向うに廻して健闘している**アレキサンダー・コルダ**の活躍振りは仲々華々しいものがある。既に**オーソン・ウエルズ**、**ポーレット・ゴダード**、**ヴィヴィアン・リー**、**バージエス・メレディス**等を契約したが今度はフランス出身の**ミシエル・モルガン**と長期契約を結んだ。モルガンはフランス映画「**田園交響樂**」で、昨年のカンヌ國際映画展の女優演技賞を與えられ、その後ユナイテッド・アーチスツ發賣の「**追跡**」に主演した。

ジョーン・フオンテイン、デイヴィッド・ナイヴン等もコルダ作品に出演すると傳えられる。



監督**ロバート・スティヴンスン**は「**美しいチャーリー王子**」"Bonnie Prince Charlie"を作る爲に三月下旬英國へ出發した。目下アメリカに居る**レックス・ハリスン**と**リリ・パーマー**の夫妻も、今年の夏コルダ作品の「**捕え難きピムパーネル**」"The Elusive Pimpernel"に共演する爲、英國へ歸る豫定である。

また**ケイリー・グラント**は、近くキャロール・リードの監督するコルダ作品「**惡魔と天使**」"The Devil and the Angel"に主演することに決定した。

「我等の生涯の最良の年」
大いに當る

サミユエル・ゴードウィンの「**我等の生涯の最良の年**」が、今年のアカデミー賞を獲た事は四月號で報道した通りであるが、この映画は紐育とシカゴの二館で二百萬弗近くを擧げ、ゴールドウィンの受取る料金が百萬弗を越しそうな模様である。紐育ではアスター劇場で最初の十五週間に六十九萬五千弗を擧げたが、この調子ではあと十週間か十二週間は續映されそうで、アスター一館で百萬弗以上は確實に稼ぐ。シカゴではウッヅ劇場で最初の十一週間に十六萬弗を擧げたが、少くもあと十週間の續映が見込まれるので、七十五萬弗は樂に行く模様である。僅か二館から百萬弗の料金を得たと云う記録は、流石のアメリカでもこれが最初である。

記録映画
「ルーズヴエルト物語」完成

故フランクリン・D・ルーズヴエルト大統領の記録映画がトーラ・プロダクションの手で編輯されて居る。故大統領の息子エリオット・ルーズヴェルトが顧問となり、ニュース映画、陸軍省の記録等二百萬呎から、ウォルター・クリー、ウィリアム・ヴァン・ブラーグの二人が協力して編輯し、上映時間八十二分に纏め上げたもので「**ルーズヴエルト物語**」"The Roosevelt Story"と題され、故大統領夫人エリナー・ルーズヴェルトも此の映画の上映に許可を與えた。

映画は一九〇四年ルーズヴェルトが結婚した直後に始まり、海軍次官、紐育州知事を經て大統領に就任し、一九四五年に逝去する迄を全部實寫で見せたもので、アール・ロビンスン作曲になる伴奏、四十人の合唱がつき、ラジオ・ドラマの作者ローレンス・クリーの脚本によつて構成され、説明の原稿もクリーが執筆した。一九三〇年以前に撮影されたものはサイレント映画で、一秒十六コマで撮されて居る爲、トーキー速度二十四コマで映寫すると可笑しいので、第三コマ目を繰返して燒つけ、トーキー速度に直すと云う手數までかけてある。

この映画は完成次第八社に見せて配給の交渉をするが、もし八社が引受けない時は製作者自身で配給する筈である。

アメリカ人の「理想」
ビング・クロスビー



風俗・習慣・國民性によつて、各國の映画ファンが支持する俳優は、いろいろと變化するが、アメリカの一般大衆に最も人氣がある男優は**ビン・クロスビー**である。ギヤラップ輿論調査を通じて「フオトプレイ」誌が行つた調査が、それを證明してゐる。彼は自分の幸運を簡單に「運がいゝから……」と答えているが、幸運だけが彼を惠んでいるのではない。彼は家庭にあつてよきパヽであり、よき夫であり、よき息子である、いや、あらゆる人間にとつてよき友である。彼のこの性格がスタジオから映画館に、そしてまた更に街頭に、それからアメリカ市民の家庭に及ぼした力は見のがすことができない。

彼は貧しい農家に生れ、牧童・新聞配達等をして苦勞をなめ、小學校にはいつてからは、教會の聖歌隊に加わつたり、圖書館で音樂に關する本を借り出して、これをむさぼるように讀んだ。この間にあつて、彼の兩親はまた、よき協力者であつた。貧しい財布をなげ出して、彼のために蓄音機を買い與えたり、樂譜を取りよせたりして彼の音樂に對する興味に火をそゝいだ。彼の幸運は彼の少年時代の環境のよさに、源を發するのである。

長じての彼は、明朗な、思いやりのある。常識に富んだ進取的な青年であつた。「わが道を往く」につゞく「セント・メリーの鐘」、この二本の映画には彼の人間としての味が一〇〇パーセントにじみ出ている。人間味をこよなく愛するアメリカ人である。信仰にまで高められた彼の人間味に深くうたれたアメリカ人は、フオトプレイ誌を通じて三度ゴールド・メダルを贈つたのである。スクリーンに現れた人間味と、私生活に現れた人間味との間に、全然スキ間のない彼の生活は、アメリカ人の理想であろう。（島暉）

カット——ビング・クロスビー



ハリウッド短波放送

田村幸彦

大作出揃う　M・G・Mの明年度作品

M・G・Mの撮影所擔當重役ルイズ・B・メイアーはM・G・Mは本年八月以降に約四十五本の劇映画と四十八本の短篇を發賣すると發表した。同社映画に主演するスターは二十八名、助演者は六十七名で、映画の材料はベスト・セラー、紐育の當り狂言、古典文學M・G・Mの募集した懸賞當選小説及び書卸しシナリオから得られる。英國に於ける撮影所も擴張され、現在では五つのステージが使用出來る。**マーガレット・オブライエン**の「**秘密の庭園**」は英國で撮影される筈である。

← 「百萬人の音樂」で日本のスクリーンにデヴューしたジューン・アリスン。

ベスト・セラーで豫定されて居るものには**クラーク・ゲイブル**、デボラア・カー主演の「**宣傳屋**」“The Hucksters”（フレデリック・ウェイクマン原作）、**ジューン・アリスン**主演「**イースト・リヴァー**」“East River”（ショーレム・アッシ原作）、**カスリン・ヘプバーン**主演「**B・Fの娘**」“B.F.'s Daughter”（J・P・マーカンド原作）、**スペンサー・トレイシー**、**ラナ・ターナー**主演「**キヤス・ティムバーレイン**」“Cass Timberlane”（シンクレアー・ルイズ原作）“So Little Time”（J・P・マーカンド原作）等がある。

その他豫定作品には、**クラーク・ゲイブル**主演「**天使の飛行**」“Angel's Flight”（英國作家エドワード・ホーステイアス原作）ブルース・マーシャル原作今日の維納を背景とした「**赤いダニューブ**」“Red Danube”デフォーの古典「**ロビンソン・クルーソー**」“Robinson Crusoe”ドストイエフスキーの「**カラマゾフの兄弟**」“The Brothers Karamazov”（ヴァン・ヘフリン、**ロバート・テイラー**、**スペンサー・トレイシー**主演）、ジョージ・ローデンバッハ製作「**ブルージの鐘の音**」“Chimes of Bruges”（**グリア・ガースン**主演）、ヘンリー・H・リチャードスン原作「**リチヤード・マホニーの財產**」“The Fortunes of Richard Mohoney”**グリア・ガースン**、**グレゴリー・ペツク**主演）等がある。

音樂映画には映画化權に六十五萬弗を投じた「**アニーよ銃を執れ**」“Annie Ges Your Gun”（**ジユディー・ガーランド**主演）、「**イースター・パレード**」「**滊艇**」「**グッド・ニュース**」等があり、「**維納の再會**」“Reunion in Vienna”はカスリン・グレイスン主演でオペレッタとして再映画化される。

MGMの懸賞小説は三年前から毎年募集されて居り、第一回當選小説は、既に撮影を完了した「**グリーン・ドルフイン街**」であるが、第二回目と第三回目の「**日の沈む前**」“Before the Sun Goes Down”（エリザベス・M・ハワード原作）と、「**夜への歸還**」“Return to Night”が製作豫定に入れられている。

四六年度の興行收入、實に二十億弗を突破！

モーション・ピクチャー・アソシエイションの發表によると、ハリウッドの映画製作費は一九三九年に比べて一一六パーセント增加したそうである。昨年一年間にMPAの檢閲を通過した作品は三九七本あつたが、この製作費は三億

ツト・ロバーツとヴインセント・ローレンスが共同で脚色し、「ブルックリンに木は育つ」のエリア・カザンが監督した大作。スペンサー・トレイシー、キャスリン・ヘプバーン、メルヴイン・ダグラス、ロバート・ウオーカー等による配役陣も強力である。

物語は一八八〇年頃、ジム・ブルウトン大佐（スペンサー・トレイシー）が、セントルイスから花嫁のルティー（キャスリン・ヘプバーン）を連れて、テキサスの故郷へ歸つて來たところから始まる。ジムは此のテキサスの大草原が牛馬の飼養に適當な土地である事を信じ、この土地に人間が移住して來て、開發することを極度に嫌つた。彼は農場を作ろうとする人たちには、常に反對をしつゞけて來た。だがジムの信念はルティーには完全に理解出來なかつた。二人の間に女の子が生れた後、ルティーは夫の許を去り、夫と反對の立場に立つて居た辯護士（メルヴイン・ダグラス）に會う。然し彼女は夫に對する愛と尊敬の念から、ジムの許に歸つて來る。彼女が歸宅した後、男の子が生れるが、その際、彼女が無意識のうちに洩した言葉から、ジムは妻と辯護士との關係を悟る。この事件の爲にルティは二人の子供を夫の許に殘して、夫の家を去らねばならなかつた。だが、これは正しい解決法ではなかつた。何年かすぎて、母の醜聞は成長した男の子（ロバート・ウォーカー）の心を亂し、彼は手のつけられぬ不良となり、遂に悲慘な最期を遂げる。今は老いた母が馳けつけて來た時には、時はすでに遲かつたのである。

トレシイーとヘプバーンはエリア・カザンの指導のもとに、彼等の生涯の最良の演技を示して居るそうである。メルヴイン・ダグラスは、四年間出征して居て、これが復員後最初の出演映画であるが、例の如き滑らかな演技を見せる。

フイリス・サクスターが溫順な娘を、ハリー・ケイリーが老醫師を、エドガー・ブキヤナンが料理番を演じて、それぞれに良い。

撮影監督はハリー・ストラドリング、伴奏音樂の作曲はハーバート・ストザウトである。上映時間二時間五分。ラジオ・シティー・ミュージック・ホールで封切られた。

コロムビア映画

ジャネット・エイムスの罪

"The Guilt of Janet Ames"

勇士の未亡人と五人の歸還兵……戰爭の生んだ悲劇を描いた異色篇！

「シスター・ケニー」に續いて、ロザリンド・ラッセルが主演した映画で、「草の海」のメルヴイン・ダグラスが共演して居る。レノア・コフイーのオリジナルをルーエラ・マクファーレーンとアレン・リヴキンと、ドヴエリー・フリーマンの三人が共同で脚色し、ヘンリー・レヴインが監督した作品。

ある大都會の往來で、一人の女が自動車に轢かれて病院に擔ぎ込まれ、正氣に返るがヒステリー性麻痺で歩行が出來ない。彼女の手提げのなかから五人の男の名前が發見されるが、そのうちの一人は病院によく知られて居る新聞記者であつた。彼は嘗ては花形記者だつたが、酒が祟つて、今は失職して居る身の上である。

彼は病院からの報知で馳けつけて來て、女の名前がジャネット・エイムスであると云う。ジャネットは、彼が軍隊時代の部下の未亡人なのだ。ジャネットの夫は、戰友たちの命を救うために手榴彈の上に身を投げて華々しく散華、國會から最高勳章を與えられた勇士なのであつた。未亡人は夫の戰友たちの名前を手提げの中に秘め、五人が夫に命を救けられた事が、果して世の爲であつたかどうかを知ろうとして居たのである。

新聞記者は、他の四人の戰友たちの話をして聞かせたが、そうするうちに、彼はジャネットが亡き夫に妻としての助力を充分與えられず、特に子供を生めなかつた事を悔み、深く自分を責めて居ることを發見する。彼は自分が酒を飲み出した理由を彼女に告白する。彼女の夫に、手榴彈の上に身を投げろと命令したのは上官だつた自分なのだ！ その自責の念から、彼は飲んだくれて、職さえも失つて終つたのだ。

映画はダグラスの物語る四人の男の話を、ユニークな手法で展開する。恐らくこの手法は今後作られる幾つかの映画のなかで眞似られることであろう。心理的ファンタジーと呼ばるべき內容である。

五人の生存者の一人はシツド・シーザーによつて演じられるが、彼の唄う歌はアレン・ロバーツとドリス・フイツシヤーが書いて居

アメリカ映画雑感



★

吉村公三郎

この春いらい觀たアメリカ映画では、何んと云つても「永遠の處女」（The Constant Nymph）が一番愉しかつた。監督のエドマンド・グールデイングは「グランド・ホテル」や「悪魔の日曜日」以來私の好きな監督の一人である。これは私の獨斷だが、なくなつたリチヤード・ボレスラヴスキーやジョージ・キユーカー等とともに手がたいドラマテイストと云われてよい人ではなかろうか。ことに主役のジョーン・フオンテインにあたえた演技指導にはすばらしいものがある。「カサブランカ」のイングリツト・バーグマンのかんのいゝ柄に物を云わせた芝居にくらべてジョーン・フオンテインのはより多く作りあげられた技巧のよさがある。「斷崖」にあつてのジョーン・フオンテインの演技にもなか〳〵いいものはあるが、この映画に於てはさらに彼女は技巧的である。しかもその技巧は監督のあたえた技巧であり、彼女がそれを如何に努力的に演じたかと云うところに興味がある。俳優のしぐさを觀てその何處が監督のあたえたものであるか俳優のものであるかを判斷するのは私達ですらなか〳〵六ケ敷しいことだが、この映画では可成りそれがわかるような氣がする。

はじめてジョーン・フオンテインが登場する場面で寢臺にねてゐる姉娘をひきずりおとすところやポーラと云う末娘がリユイスとフロオレンスの一件を知つてテツサを探すくだり、その最後にテツサが氣絶するのがドケどしに見えるところ、あの画面構成には感心した。この映画でもそうだが、「タリスマスの休暇」にしろ、「嵐の青春」と云うのにしろヒチコツクの作品にしろ最近のアメリカ映画でキヤメラの位置が總體に低くなつて來ているのはどう云うわけだろうか。その道にくわしい人にきいて見たいことである。日本では小津監督と云うロウ・ポジシヨンの大家があるが、ロウ・ポジシヨンでありながら、パーンや移動を使用するのはなか〳〵六ケ敷しいことだと思う。このためには日本でも配光の設備をよりよく改善しなくてはいけない。

ついでながら最近、澁谷君の「情炎」を觀てその演出技巧の卓拔さに、驚をしたものであるが、ヒチコツクの打法とグウルデイングのフオンテインにあたえた演技指導のあり方が、強く澁谷君に影響をあたえ、それが水戸光子とともにあの作品の成功をもたらしたのだと思つた。畏友澁谷は遂に日本に於ける誰よりももつと優れたシネアストになつたことを認めざるを得ない。（筆者・松竹映画監督）

カツト――ジヨーン・フオンテーン

本誌速報 紐育封切映画御案内

U・A提供フエデラル映画

カーネギー・ホール

Carnegie Hall

十数名の世界的音楽家がその妙技をきかせる音楽映画の豪華版！

「運命の饗宴」の製作者の一人たる**ボリス・モーロス**（前パラマウントの音楽部長）と、**ウイリアム・ルバロン**（前パラマウント撮影所長）とが設立した**フエデラル映画社**の第一回作品である。

カーネギー・ホールと云うのは、ニウ・ヨークにある音楽の殿堂で、世界的の藝術家が紐育で演奏會をする時には、必ず此のホールを使用する。この映画は、すべての撮影を紐育で行い、カーネギー・ホールの實景と、そこに出演する多數の音樂家を紹介した音樂映画の豪華版なのである。

シーナ・オーエンの原作を、**カール・カーム**が脚色し、ヘディー・ラマー主演の「不思議な女」を監督した**エドガー・G・アルマー**が監督に當つた。

ストーリーは單純なもので、カーネギー・ホールに働くアイルランド生れのノーラ・ライアン（**マーシヤ・ハント**）が、自分の息子トニー（**ウイリアム・プリンス**）を苦心して音樂家に育て上げ、ホールの舞臺にデビゥさせる迄の物語である。だがこの映画の觀せ場は、映画中に現れる世界的音樂家の演奏の數々である。その中でも**エツイオ・ピンツア**がバスで唄う「シモン・ディ・ボッカネラ」のアリアと、「ドン・ジオヴァンニ」の乾盃の唄、**アルツール・ルービンシユタイン**のピアノ獨奏「變イ調ポロネーズ」と「火の踊り」**ヤツシヤ・ハイフエッツ**のヴァイオリン獨奏「ト長調、ヴァイオリンと管絃樂の爲の協奏曲」、**リリー・ポンス**のソプラノ獨唱「ベル・ソング」、**ヤン・ピアース**のテナー獨唱「オー・ソレ・ミオ」等が特に優れた出來榮えである。

そのほかセロ獨奏の**グレゴール・ピアテイゴルスキー**、「カルメン」を唄う**リシー・スティーヴンス**、指揮者**フリッツ・ライナー**、**ブルーノ・ワルター**、**アルツール・ロジンスキー**、**ウオルター・ダムロッツシユ**、**レオポルド・ストコウスキー**等による管絃樂演奏、**ヴオーン・モンロー**の唄うポピュラー・ソング三つ、**ハリー・ジエームス**のトラムペット獨奏等がある。

俳優では**ハンス・ヤーライ**がヒロインの夫に扮しているほか、**フランク・マクヒユー**、**マーサ・オドリスコール**等が出演する。

撮影監督は**ウイリアム・ミラー**。この映画ではウエスターン・エレクトリックが最近完成した新しい**ステレオフオニツク錄音法**が初めて採用され、素晴らしい錄音效果を示してゐるそうである。上映時間二時間十六分。



Katharine Hepburn

(M.G.M. Star)

「草の海」に主演する

キヤスリン・ヘプバーン

New Films in New York

M・G・M映画

草の海

"Sea of Grass"

トレイシー、ヘプバーンが彼等の生涯の最良の演技を見せるというメロドラマ！

曾てRKOの製作部長であった**パンドロ・S・バーマン**が製作した映画で、**コンラッド・リヒター**原作のベスト・セラーを**マーゲリ**

リンに木は育つ」を監督した**エリア・カザン**が監督に當つた。

物語はカネチカット州ブリッヂボードと云う少さい町に實際にあつた殺人事件で、眞犯人はいまだに檢擧されない。この映画は實際の撮影はカネチカット州のスタムフォードと云う町で行われ、法廷の場面だけはニウ・ジャーシー州のホワイト・プレインズの法廷が使用された。

一九二四年のある晚、アメリカの或る小さい町の微かな街燈のもとで、ラムバート神父と云う親切な老牧師が何者かのために殺害されて居るのが發見された。彼は何人にも愛され、敵のない人物であつたが、犯人は冷酷無殘にもピストルで彼を斃し、そのまゝ姿を晦ました。この犯行は多勢の證人によつて目擊された。犯人は中背で黑い外套と灰色の帽子をかぶつた男である事が證言され、警察は多數の容疑者を捕縛したが犯人は擧らない。數週間の後、輿論は警察の無能を攻擊し始めた。警察は面目にかけても眞犯人を捕えなければならない。

逐にある男が捕縛され、證人たちによつて犯人に相違ないと證言され、彼も峻嚴な二日間の取調べの後犯行を自白した。然し若い檢事ヘンリー・ハーヴェイ（**デイナ・アンドルウス**）は、どうしても此の男、ジョン・ワルドロン（**アーサー・ケネディー**）の有罪を信じる事が出來なかつた。然し彼は知事選擧の候補に指名されて居た。犯人の有罪を立證すれば、選擧で勝利を得る事は判つて居る。自分の立身のために無實の罪と信じる男に有罪を求刑すべきか、或は自分の將來を捨てても自己の信念に生くべきか。ハーヴェイは迷わざるを得なかつた。

彼は後者を選んだ。公判の日、彼は證人たちの證言が眞實でない事を立證した。嫌疑者のワルドロンは放免されたが、ハーヴェイは知事になり損つた。然し後年、彼はアメリカの檢事總長になつた。ハーヴェイの實際の名前はホーマー・カミングスである。

映画は實話と同じく眞犯人を擧げず、事件は迷宮入りのまゝに終つて居るが、實話の興味と、記錄映画的の手法で素晴らしい感銘を與えるそうである。俳優はこのほかに**ジエイン・ワイアット**が檢事の妻に、**リー・J・コッブ**が警察部長に、**サム・レヴイーン**が新聞記者に、**テイラー・ホームズ**が新聞社長に扮して居る。

撮影監督は「九十二丁目の家」の**ノーバート・ブロダイン**。上映時間は一時間二十八分。

二十世紀フォックス映画
故ジョージ・アプリー
"Late George Apley"

因襲にとらわれた風俗習慣への心憎い諷刺を描いたコメディー！

この映画の原作は**ジョン・P・マーカンド**が七八年以前にピューリッツァー賞を與えられた小說である。マーカンドはその後劇作家の**ジョージ・S・コーフマン**と協力して、この小說を舞臺劇に書いた。舞臺劇は小說中の二つのエピソードのみを採り上げたものであつたが、ボストンの因襲に支配された風俗習慣に對する諷刺が頗る面白かつたので、大變な評判となり、ブロードウェイで八十週間續演された。それが**フイリップ・ダン**の脚色、「王國の鍵」「クリスマスの休暇」を脚色した**ジヨーゼフ・L・マンキーウイッツ**の監督で映画化された。製作者は**フレッド・コールマー**である。

主役は「心の旅路」の**ロナルド・コールマン**で、「永遠のアムバー」に主演する筈だつた英國女優**ペギー・カミンス**がこの映画でアメリカ映画に初登場する。

物語の背景は一九一二年頃のボストンである。ジョージ・アプリー氏（**コールマン**）は謹直そのもののような紳士で、妻（**エドナ・ベスト**）との間にハーヴァード大學に通う息子（**リチヤード・ネイ**）と、結婚適齡期の娘（**ペギー・カミンス**）がある。彼は舊家に生れ、堅い傳統の殼のうちに育てられて來たので、骨の髓まで保守的な思想で固まつて居る。感謝祭の食卓に、妻が菊と南瓜を飾つたとき、「お前、こりや少し過激すぎやせんかね」と云うような男である。少しでも舊來の習慣に反したものは、彼にとつては過激なのであるだが新しい時代の浪は彼の前にも押寄せて來る。彼は變化に對して順應を餘儀なくされる。これがこの素晴らしい喜劇のテーマなのである。コールマンのアプリー氏は、眞面目くさればくさる程、觀る者の腹の皮をよぢらせる。彼としても空前の出來榮えだと云われる。この映画では助演者が揃つて良い演技を示し、效果を助けているが、舞臺に於けると同じに義弟を演じる**パーシー・ウオーレン**が特に傑出して居る。常に「正しい事」をする從弟ホレイシオを演じる**リチヤード・ヘイドン**も印象に殘る。

鳴物入りで騷がれたペギー・カミンスは、非常に一生懸命に演じては居るが、彼女の眞價はもう一二本待たなくては判らないと云われる。撮影監督は**ジヨーゼフ・ラシエル**。上映時間一時間三十八分と云う手頃の長さである。ラジオ・シティー・ミユージック・ホールで封切られることになつた。

最近見たアメリカ映画の撮影技術に就て
三村明

アメリカ映画といつても一流から二流、三流とあつて其々撮影技術の高低はありますが、機械的設備の惡さから來たと思われるものは一つもありません。戰前の映画から見て特に大轉換をしたという點は見當りませんが總じて何十年もの經驗を持つたエキスパートが益々其の腕の冴えを見せて、中には其の完璧をきしているとさえ思われる者がいます。

画面から想像すると、以前のアメリカ映画と比較して画像が大變しまつて來ている、即ちシャープなイメイヂを画き出していいます。恐らく此は戰時中レンズがアストロからタッタに變つたことと、殆んど最近のレンズが『コーテッド・レンズ』であることと等が其の主な原因だと思います。充分な光量のもとで或いは多少レンズを絞つて撮影しているのではないかと思われる画面が相當見受けられます。

昨年度の黑白映画でアカデミー撮影賞を取つた『アンナとシャム王』のアーサー・ミラーの撮影は實に立派な仕事をしています。我々が想像する暑いシャムの感じが全映画を通じて實によく表現出來ているそうです。又メイクアップの巧みさもありますが、人物が本當のシャム人の感じを出している點など、一寸他に類のない成功を收めているようです。

前にも書いた樣に、アメリカの撮影所の機械設備はいずれも完備していますから、其の技術の高低は一にキャメラマンの腕で異つて來るのです。過去十數年間に監督、俳優陣には算え切れない程の新人を登場させていますがキャメラマンは割に少ないのです。本年四月初めの調査に依ると聖林の十二の一流撮影所で四十二本の映画が製作されつゝありますが、其の擔當キャメラマンの三十六人までが十數年前からのヴェテランで、割に新しい人といえば六人位しか活躍していない有様です。此等の人々の絕えざる努力が今日の優秀な技術を生み出したことを忘れてはならないと思います

（筆者・東寶映画撮影技師）

る。そのほかニナ・フオッシュ、ベッシー・ブレアー、リチヤード・ベネディクト、ヒユー・ボーモン、子役のドリーン・マツカン等が物語の中に登場する。「幽靈紐育を歩く」のジョーゼフ・ウオーカーが撮影監督を、ジョージ・ダニングが作曲を擔當した。上映時間は一時間二十二分。

M・G・M映画

それはブルックリンで起つた

It Happened in Brooklyn

クロスビーに次ぐ人氣歌手シナトラが二年振りに主演した音樂ロマンス！

メトロの音樂映画は最近は殆んどテクニカラーで撮影されて居るが、この映画は普通の白黒である。テクニカラーで撮すと、プリントの完成に半年から一年もかゝるので、色彩映画とすべき材料を白黒にしたのであろう。

この映画には「錨を揚げて」以來二年ぶりに**フランク・シナトラ**が主演して居るほか、**カスリン・グレイスン**、**ピーター・ローフオード**の二新人や**ジミー・デユランテ**が主要な役を演じている。

シナトラは、ジェローム・カーン一代記たる「雲の流れ去る迄」に昨年端役で出演したが、今度の映画では堂々たる主演ぶりで、演技も唄も非常な進歩を見せる。唄いぶりはクロスビー張りの自然さを會得し、喜劇俳優としての演技も身について來たと云われる。

ジョン・マクゴワンのオリジナル・ストーリーを**イソベル・レナート**が脚色し、「クリスマスの休暇」で新聞記者を演じた**リチヤード・ホーフ**が監督した作品。

倫敦でブルックリン生れの若いアメリカの兵隊ダニー(**シナトラ**)は、若いイギリスの貴族ジェイミー・シェルグローヴ(**ローフオード**)と友達に成る。ダニーは現代音樂が大好きだが、ジェイミーはクラシカルでなくては音樂だと考えない保守的な若者なので、ダニーは何とかして其の考えを直してやろうと努力する。

そのうちダニーは復員して、故郷のブルックリンに歸り、母校を訪ねて音樂の先生アン・フィールディング(**グレイスン**)に知合い、小使のニック(**デユランテ**)とも舊交を温める。彼は住む部屋がないので、ニックの家に置いて貰う事になり、アンを戀し始める。一方ジェイミーは祖父からアメリカへ行つて、アメリカ精神を學んで來いと命じられ、ブルックリンへダニーを訪ねて來る。彼もアンに逢つてから彼女の崇拜者になつてしまう。ジェイミーは、ダニーの指導で、現代のジャズ音樂も、立派な音樂である事を悟る樣になる。そして四人は力を協せて、アンの教え子の爲に音樂會を開き、その少年が奬學資金を得る機會を作つてやる。ダニーは自分が本當に愛しているのは、アンでなくて倫敦で會つたブルックリン生れの看護婦(**グローリア・グレアム**)であることを悟り、すべては幸福な結末となる、と云う物語である。

映画のうちには、**サミー・カーン**と**ジユール・スタイン**の作曲したピアノの新曲六つと、幾つかの流行歌とクラシックが唄われる。シナトラとグレイスンの合唱で「ドン・ジオヴァンニ」の一節を茶化して唄つたり、グレイスンが「ラクメ」のベル・ソングを眞面目に唄つたりして、音樂ファンにも樂しい一篇である。

撮影監督は、**ロバート・ブランク**。上映時間は一時間四十三分である。



Rosalind Russell

(Columbia Star)

「ジャネツト・エイムスの罪」の主演者ロザリンド・ラツセル。

二十世紀フォックス映画

ブーメラング

Boomerang

實話に取材し、記錄映画的手法で描いたある殺人事件の秘話！

ブーメラングと云うのは濠洲土人の用いる飛道具で、長さ二三尺の木片の中央を少し曲げてある。これを巧みに投げると曲線を描いて飛んだ末、投げた人の手許に歸つて來ると云われる。これを比喩的に使つて、「己れに出でたるものは己れに返る」と云う意味に使われる言葉である。題名の詮索はその位にして——

二十世紀フォックスでは、全部の撮影を事件の起つた土地へ行つて行い、半ば記錄映画的の手法で映画を作る試みを「九十二丁目の家」で初めて試み大成功を收め、既報の「マドレイヌ街十三番地」に續いて、この「ブーメラング」も同じ手法で作り上げた。このほか同社では幾つか同じ型式の映画を企畫して居る。以上の三本は、いずれも**ルイ・ド・ロシユモン**の製作した作品でハリウッドでは一寸も撮影されない映画である。

この作品はリーダス・ダイジェスト誌に**アンソニー・アボット**が書いた實話に基いて、**リチヤード・マーフイー**が脚色し、「ブルック



Charles Boyer

(*20th Century-Fox Star*)

シヤルル・ボワイエ……1899年8月28日、フランスのフィジアクに生る。48才。1年間佛陸軍に入隊、パリ公立音楽學校に學ぶ。1920年パリの舞臺に立ち、無聲映画時代から映画に出演、最初のトーキー出演は1930年、ハリウッドに本格的に腰をすえたのが1934年、元フオツクス女優だつたパツト・パターソンと結婚。



Gary Cooper

(Paramount Star)

ゲーリー・クーパー……1901年5月7日、モンタナ州ヘレナに生る。今年50歳。眼はブルー、頭髪はブラウン、身長6呎2吋。映画界に入る前の演技経験といえば学生時代アマチュア劇團に出演していたくらいのもの。無聲映画時代から今日まで、数々の名作大作に出演して、今もなおアメリカ映画の代表的人気スターである。元女優サンドラ・ショウと結婚。

えくぼ可愛いや

エクボのシヤーリー・テムプルも今ではれつきとしたジョン・エイガーの奥様です。まゝごとのような夫婦ごつこ……とは失禮な。彼女もこの4月23日で19回目の誕生日を迎えましたから、滿19歳ともなれば立派な女性ですゾ。それにしても、いつまでもあどけなき彼女のカンバセよ。傍なるジョン・エイガーもなかなかの好青年です。(4/19)





ふ唱ふ隨

「百萬人の音樂」ではじめて日本のフアンに紹介されたジユーン・アリスンは、かつての歌うスターで、最近は性格的な役に精進しているデイツタ・ボウエルの夫人です。この御兩人今夜は仲睦じくクラブ・モカンボに現れました。彼等は最近船遊びに凝つてふ唱ふ隨の實をあげています。(3/13)



あなたまかせ

有名な衣裳デザイナー、ドン・ロツパーの最も新しいフアツシヨン・ショウが、最近ハリウッドで開催されました。このフアツシヨン・ショウは最新の流行をクリエートするものとして、それぞれ自信たつぷりのハリウツドのベスト・ドレツスト・ウーメンの人氣を呼びましたが、その中の一人であるジユデイ・ガーランドも、監督である夫のヴインセント・ミネリと一緒にこのショウを訪れました。そしてどれをオーダーしようかナと迷うガーランドを傍なる彼氏は「萬事あなたまかせ」といつた態。(2/27)

This is Hollywood!

I. N. S. 特約ハリウッド・スナップ Hollywood Snapshots exclusively furnished by I. N. S.



私のダンナ樣

スクリーンで美しい戀を囁く憧れのスターのダンナ樣も、逢つてみると案外
がつかりという例が澤山ありますが、「嘆きの白薔薇」のロレツタ・ヤングの
ダンナ樣も、ファンにとつては御多聞にもれず幻滅組の一人といえるでしよ
う。彼はトム・ルイズというラジオ・プロデユウサーです。このスナップは
レストラン・シロに現れた御兩人をスナップしたものです。(2/20)



離婚寸前

新しいハリウッドの話題は、グリア・ガースンとリチャード・
ネイの夫婦仲の成行きをめぐつてチンヤワンヤです。というの
は、この夫婦仲にもヒビがはいつて、もう大部分から別居して
いるからです。よりを戻すか決裂かは神樣のお考え次第……。
當のグリア・ガースンは、うるさい噂をよそに、御覧の通り元
氣にパーティに顔を見せています。(4/3)



セットにて

デイアナ・ダービンの一番新しい主演
映画は「メリーの戀」"The Love of
Mary" というユニヴアーサル映画で
すが、彼女はこの映画でこのスナップ
のジョン・ドールと共演しています。
ジョンは「小妻は緑」でケンブリッヂ
大學に入學する學生に扮した新人であ
ることは皆樣も旣に御承知の答です。
これはジョンの「小妻は緑」以來最初
の出演映画です。(3/27)



撮影の合間

最近「アンナとシャム王」でアイリン・ダンと共演し、シャム王に扮した英國のスター**レツクス・ハリソン**、「ローラ」「アダノの鐘」「彼女を天國に去らしめよ」等の作品で激しい性格の女の役を好んで演じている有望な新人**ジーン・テイアニー**……この曲者二人が、今度二十世紀フオツクス映画「幽靈とミユア夫人」" The Ghost and Mrs.Muir "で共演しています。このスナツプは、同映画撮影合間における二人です。(1/9)



おしどり御夫婦

あまり度々なので氣がひけますが、またまた**ジヨン・ペイン**、**グロリア・デ・ヘヴン**御夫婦のスナツプを御紹介します。この御兩人のスナツプが多いのは、それ程彼等がお揃いでパーテイやレストラン等に顔を出すことが多いという證左になるでしよう。「ねエ、あなた、ここんとこ變じやないの？」といつて鏡をのぞく奥様を、ダンナ様は、「ちつとも變じやないよ」といとも仲のいゝところをパチリ！場所はクラブ・モカムボです。(3/27)



ラツセル健在

オーストラリアに生れ、看護婦となつて小兒麻痺の治療を思い立ち、35年間もこの仕事に一生を捧げたエリザベス・ケニーの崇高な傳記を映画化した「シスター・ケニー」（ダドリー・ニコルス監督、RKO映画）に主演して素晴らしい演技をみせた**ロザリンド・ラツセル**が、モカムボに夫君のフレデイ・ブリソンと一緒に現れました。フレデイは映画の製作者として知られています。(4/3)





ジヤングルの女王

最初はラジオのシンガーとしてラジオ・ファンの耳だけを喜ばしていた**ドロシー・ラムアー**も、ラジオ雑誌の口繪にそのポートレートが出てからハリウツドのプロデユウサーの關心をひき、美しい咽喉だけでなくその豊滿な肢態をかわれてハリウツド製ジヤングルの中のサロンをつけたヒロインに選ばれたのでした。これが彼女の映画入りとなりました。サロン姿の熱帯女で賣出した彼女も、今では押しも押されもせぬ人氣スターで、私生活ではこのスナツプのウイリアム・ロス・ハワードの夫人です。(2/27)



曲者ワイルダー

「カサブランカ」や「情熱の航路」で落着いた演技を見せた**ポール・ヘンリード**と彼の夫人を相手に談笑している御仁は、誰あろう、**ビリー・ワイルダー**であります。えツ？　ビリー・ワイルダーつて何者だい？なんて頼りないことをいうのは誰ですか？　彼こそは1945年度アカデミー賞作品「失われた週末」の監督で、彼もまたこの作品で監督賞をもらつています。今後の活躍を期待出來る監督の一人です。尚彼の近作にビング・クロスビー、ジョーン・フオンテーンの主演する「皇帝圓舞曲」があります(4/3)



いつも御一緒

「アメリカ交響樂」で日本のスクリーンにデヴユウし、つゞいて「永遠の處女」に出た**アレキシス・スミス**は、その後澤山のウオーナー映画に出演していますが、洗練された近代趣味を身につけた彼女は、私生活ではこのスナツプのクレイグ・スティヴンスの奥様です。彼氏は近く俳優として打つて出るそうです。(3/6)



ローラ *Laura* 「アダノの鐘」「彼女を天國に去らしめよ」等に主演し、異色ある新人として囑望されているジーン・テイアニーを日本のスクリーンにはじめて紹介する作品だ。あるアパートで首なし殺人事件が起る。被害者はテイアニーの扮した女優である。事件は怪奇を極めて展開される。ベラ・カスケリーのベスト・セラーをオツトー・プレミンガーが監督したもので、新人ダナ・アンドリユウスが共演した1944年度二十世紀フオツクス作品。



マーガレツトの旅 *Journey for Margaret* 天才少女スター、マーガレツト・オブライエンの出世作品である。ロバート・ヤングとラレイン・デイの若い夫婦が、妻が病氣が原因で子供を生めない身體となつたため、孤兒のマーガレツト・オブライエンともう一人男の子を貰つて育てることになるが、この若い夫婦と子供達との間の優しく美しい心の交わりを描いた純情篇である。オブライエンの可憐な演技は見る者の心に暖い微笑みを送ることだろう。ウイリアム・L・ホワイトの小說の映畫化で、監督はW・S・ヴアン・ダイク・ジユニアである。助演者としてフエイ・ベインターが達者なところを見せている。1942年度M・G・M作品。

新映画續いて入荷！
THE MOVIE SEASON IS OFFICIALLY OPEND !



戀の設計
Appointment for Love

シヤルル・ボワイエとマーガレツト・サラヴアンの共演というところにこの映画の興味がある。サラヴアンは古いフアンには「お人好しの仙女」「薔薇はなぜ紅い」等の作品でお馴染みのスターだ。この映画はラディスラス・ベスフエケテのオリジナル・ストーリーをブルース・マニング、フエリタス・ジヤクソン（デイアナ・ダービンの夫で、現在プロデユウサー）が共同脚色、ウイリアム・A・サイターが監督したコメデイで、1941年度ユニヴアーサル作品。





いちごブロンド
The Strawberry Bronde

1933年、ゲーリー・クーパーが主演した佳作「或る日曜日の午後」を再映画化したもので、クーパーの役をジエームス・キヤグネー、心優しい乙女をオリヴイア・デ・ハヴイランド、戀を裏切る女をリタ・ヘイウオースが演じている。ジエームス・ヘイガンの舞臺劇の映画化で、監督は久し振りのラオール・ウオルシユ、若き日の戀の幻滅と美しい眞心を描いた1941年度ウオーナー作品。





美人劇場
Giegfeld Girl

MGM十八番のレヴユウ映画で、ジユデイ・ガーランド、ラナターナー、ヘデイ・ラマール、ジエームス・ステユアートといつた若手人氣スターを共演させたところに大きな魅力がある。監督は老練ロバート・Z・レオナード、舞踊監督は「ブロードウエイ」のバスビー・バークレー、ガーランドは寄席藝人、ターナーは百貨店のエレヴエーター・ガール、ラマールは貧しい音樂家の妻、ステユアートはターナーの戀人である運轉手に扮して、華やかなジーグフエルドの舞臺を見せている。1941年度MGM作品。





ゾロの記號
The Mark of Zorro

嘗て故ダグラスが主演し、フアンの血を湧かせた「奇傑ゾロ」の再映画化である。ダグラスのゾロに對して今度はタイロン・パワーがこの役を演じている。スペインの領地であつた頃のカリフオーニアを舞臺として、ベイジル・ラスボーンの惡役人を相手に、人民を惡政から救うといつたヒロイツクな物語を描いた活劇もので、パワーとラスボーンとの劍戟がみものといわれている。パワーの相手女優は新人リンダ・ダーネルである。尙監督がルウベン・マムウリアンという點にもこの映画の大きな魅力がある。マムウリアンとパワーの「ゾロ」、興味ある取り合わせではないか。1940年度二十世紀フオツクス作品。





エミール・ゾラの生涯
The Life fo Emile Zola

ポール・ムニ主演、ウイリアム・デイターレ監督、このコンビによる傳記映画には、嘗て名作「科學者の道」がある。更にデイターレはこれに次いで「偉人エーリッヒ傳」という立派な傳記映画を作つているから、彼こそ傳記映画監督の第一人者といえる。數奇を極めた文豪ゾラの傳記を映画化したこの作品も期待にそむかぬ名作で1937年度アカデミー作品賞、脚色賞を得ている。1937年度ウオーナー作品。



天國の一歩
One Foot in Heaven

フレドリック・マーチが、「小妻は椽」「アメリカ交響楽」のアーヴィング・ラパーの監督で主演した映画だ。メソディストの牧師のヒューマニズムを主題としたハーツエル・スペンスの自傳的小説を「小妻は椽」「嵐の青春」のケイシー・ロビンソンが脚色したもので、「我等の町」のマーサ・スコットがマーチの扮する牧師の妻になつている。田舎町を舞臺に、傳道につとめる牧師一家の苦闘の物語を美しく微笑ましく描いた1941年度ウオーナー作品。

る事もなく家にいた時、長男のジャックが歸つて來た。退屈だつた彼女はジャックを相手に酒を飲み出したが、醉うほどに持前の淫らな氣持からジャックをそゝのかして接吻してしまつた。その姿が外出から歸つて來たエミリーの眼に止つた。

その夜一同が寢室へ引取つた後で、ヘスターはそつとジャックの寢室へ忍んで行つた。隣室のアダムが寢ようとして電氣を消した時、ジャックの部屋で抱き合つて接吻している男女の影が見えた。女が誰であれ、獨身の息子が女と寢室にいるとは！ アダムはすぐジャックの部屋の扉を敲いた。その物音でエミリーは事情を察して、自分の部屋からジャックの部屋へ通じる扉から中へ入り、ヘスターをそつと逃がした。そしてアダムの前へ扉を開いた。息子の部屋から出て來たエミリーの姿をみて、アダムは悲しみと怒りに顏を硬くしたまゝ自分の寢室へ歸つて行つた。エミリーは、ヘスターが義兄のジャックと不義をしている事をアダムが知つたら、どんなに惱むかと考えて、自分を犠牲にして事實が知れることを防いだのだつた。翌日ヘスターは厚釜しくも惡びれる樣子もなく、ただ彼女に禮を云つたが、エミリーは「貴女の爲にした事じゃありません」と非難の眼を向けた。アダムはエミリーを避けるような態度だつたが、それは豫期した事ではあつたがエミリーには辛かつた。

ヘスターはジャックばかりでなく、次には三男のクリスを誘惑しようとした。ジャックは自分の間違いを深く反省していたが、ヘスターが又クリスをも傷つけようとしているので怒つて彼女に立去る樣に言つた。

デーヴィッドが又休暇で歸つて來た。その夜も酒を飲んだヘスターは、夫と寢室へ行つて大に愛撫されている時「可愛いジャック」と口を滑らせてしまつた。デーヴィッドは蒼くなつた。妻と兄が！ 突然の衝撃のために彼はその夜誰にも云わず家を出て行つた。

翌日一同が心配している時、電話がかゝつて、デーヴィッドが惡天候にも拘らず無理に飛行機に乘つて飛上り墜落して重態だとのことだつた。ジャックは一切を父に告白しようとしたが、エミリーは默つている樣にと云つた。アダムとジャックが病院へ驅けつけている間に、エミリーは「貴女のような家庭の美しさを破壞する女は出て行つて下さい」と無理にヘスターの手をとつて追い出そうとした時、病院からアダムとジャックが歸つて來た。ヘスターは、エミリーが自分を追い出そうとしていると、アダムに訴えた。アダムはそれを信じる風だつたので、エミリーは唇を噛んで辯解もせずに部屋へ歸り、身の廻りの品を纒めた。こうなつては自分はこの家に止つていることは出來ないと彼女は考えた。

ヘスターはアダムに

「私を病院へやつて下さい、あの人を一人でおいたら又何をするか判りません」

その言葉がアダムに突然疑いを起させた。

「それは、どうゆう意味だ？ デーヴィッドの怪我は過失じゃなく故意のことなのか？ 話しなさい！」

その時ジャックが、

「僕から説明します」

と云つた。彼は、エミリーが父を祕かに愛していること、父も彼女を愛している事を知つていた。それなのに自分の過失のために皆が惱んでいる事に耐えられなかつた。そして父に一切を告白した。

ヘスターは家を出て行くことになつた。

荷造りをしているエミリーの部屋へアダムが入つて來た。

「總てはジャックから聞いた。貴女には濟まない」と詫びてから恥しそうに口籠つて云つた。「息子達の母になつてくれないだらうか？」

「お望みなら」

と答えるエミリーの口許に喜びの笑いが浮んだ。



Studio News

★MGM社

▽**ジユデイー・ガーランド**の主演で開始された既報の「海賊」は一時中止され、その代りにガーランドは「クリスマスの休暇」に出演したジーン・ケリーを對手として、ヴィンセント・ミネリの監督で「**良いニユース**」"Good News" に主演し始めた。從つて四月號で報道したジユーン、アリスン等は、この映画には出演しない譯である。

★パラマウント社

▽**ダイアナ・リンとベテイー・ハツトン**とは近くミツチエル・ライゼンの監督する「**聖者になつた姉妹**」"The Sainted Sisters" に主演する。男優はスターリング・ヘイドンとジョン・ランドである。

▽**アラン・ラツド**と**プレストン・フオスター**は近くレスリー・フエントンの監督する「**囁くスミス**」"Whispering Smith" に主演する筈。

★RKOラジオ社

▽**エドワード・デイミトリク**は、ロバート・ヤング、ロバート・ミッチヤム、ロバート・ライアン、グローリア・グレアム、ジヤクリン・ホワイトを主役として人種偏見を主題として「**十字砲火**」"Crossfire" の監督を始めた。

▽RKOはハル・ウオーリスから「**白い沼**」"The White Swamp" の映画化權を讓り受け、監督バイロン・ハスキンと、スターのリザベス・スコット、バート・ランカスターと、キャメラ・マンのレオ・トーヴアーとを借り受けて、近く製作に着手することになつた。

▽**アイリーン・ダン**、バーバラ・ベル・ゴツデス、オスカー・ホモルカは、カスリン・フオーブス原作の小説「ママの銀行預金」に基いたブロードウエイの當り狂言「**私はママを覺えてる**」"I Remember Mama" の主役に決定した。監督はジョージ・スティーヴンスである。

▽エドワード・デイミトリクの次回作品はスイスにロケーションして撮影される「**白い塔**」"The White Tower" と決定。「ラインの監視」の**ポール・ルーカス**が主役に契約された。

▽現在UI社の「扉の陰の秘密」に主演して居る英國のスター、**マイケル・レツドグレーヴ**はダドリー・ニコルスの監督する既報「**喪服の似合うエレクトラ**」に、**ロザリンド・ラツセル**と共演する契約をした。

★コロンビア社

▽**フランチヨツト・トーン**、ジヤネツト・ブレアー、アデール・ジャーゲン、ジェームス・カーターはシルヴアン・サイモンが近く監督する「**二倍の收入**」"Double Take" に主演する。トーンの役は素人探偵である。

▽既報の「御婦人は方法を知つて居た」は「**夫の情事**」"Her Husband's Affairs" と改題された。**フランチヨツト・トーン**とルシル・ボールの共演映画である。

★獨立プロダクシヨン

▽**ジヨーン・レスリー**の獨立プロ、カルヴー・プロダクシヨンの第一回作品は「**金持娘成功す**」"Rich Girl Makes Good" と決定し監督にハル・ウオーカーが契約された。



新着映画紹介・1

四人の息子

Adam Had Four Sons

コロムビア映画

妻を失い四人の息子を抱えた男に捧げる女の眞心　名優バーグマンの描く涙の純情篇！

解説

チャールズ・ボナーのベストセラー小説「忘れがたみ」を「ボビーの凱歌」の**ウイリアム・ハールバート**と**マイケル・ブランクフォート**が脚色した。監督はロシア出身で俳優、脚色家、監督であり、昨年封切された「嘆きの白薔薇」の**グレゴリー・ラトフ**である。撮影監督は「目撃者」「ある雨の午後」「バーレスクの王様」の**ピヴエレル・マーレイ**、音樂監督は**C・バカレイニコフ**である。

主演は「ガス燈」でアカデミー賞を得、續いて「スペルバウンド」「サラトガ本線」「聖メリーの鐘」等の巨作に主演し、絶大の人氣を持つている**イングリッド・バーグマン**。これは「間奏樂」に次ぐ彼女の渡米第二回主演映画である。相手役は、「バーレスクの王様」「四十二番街」「虎鮫島脱出」「榮光の道」「蜜林の復讐」等の**ウオーナー・バクスター**。その他に「巖窟王」「キング・コング」「舗道の青春」の**フエイ・レイ**が珍らしく出演しているし、「ボー・ジェスト」に出ていた**スーザン・ヘイワード**が妖婦役として活躍している。又新人**リチャード・デニング**、ダンサーであり近頃は俳優として働いている「アメリカ交響樂」の**ジョニー・ダウンス**等が助演している。**ロバート・C・シャーウッド**が製作した**一九四一年度作品。九巻**

梗概

アダム・ストッダードは、自分の古い家柄が誇りだつた。株式商賣の仕事も旨く行つているし、妻のモリーと四人の息子との樂しい生活に、彼はこの上なく滿足していた。年の順で云えば、ジャック、デーヴィッド、クリス、フイリップの四人の息子には、家庭教師が必要だつたので、歐洲からエミリー・ギャラティンという婦人に來て貰つた。彼女は若く美しく、子供達の良き教師であると同時に良い遊び友達であつた。アダム夫婦も信頼していたし、子供達もなついて、ストッダード家は春のように明るかつた。

だが間もなく一九〇七年の經濟恐慌でアダムの商賣に暗い影を投げた。彼は頽勢を喰いとめようと努力したが、如何ともし難い形勢だつた。しかも彼が氣づかない間に、妻のモリーは病氣になつていた。そして感謝祭の日に、彼女は突然卒倒した。早速醫師が呼ばれて手術をすることになつたが、危險を豫知したモリーは、自分が死んだ後の子供達の面倒を、エミリーに頼んだ。手術は成功せず、モリーは皆の嘆きの中に死んでしまつた。

アダムの事業は全く停頓してしまい、損失を補うためには、代々住んだ家も手離さなければならなかつた。親戚のフィリッパ老夫人の助けで、ジャックとデーヴィッドとクリスの三人は彼の手を離れて學校へやつて貰うことになり、彼は幼いフイリップと共にブルックリンのみすぼらしいアパートへ移り住まねばならなかつた。その上彼はエミリーの給料も拂えないので、一旦歐洲へ歸えつて貰うことにした。エミリーはモリーから頼まれた事ではあり、無給でもいゝから子供の世話をしたいと言つたが、事情が許さなかつた。彼女は、再びアダムが事業を立直して自分を迎えに來ることを樂しみに、歐洲へ歸つて行つた。

十年の月日が過ぎて、第一次歐洲大戰が起つた。戰爭のお蔭で米國の產業はすさまじい勢いで發展し、アダムの事業も忽ち回復された。米國が參戰した時、一人前に成長した息子達は、皆志願して兵役に服することになつた。アダムは昔賣り拂つた家を買戻して美しく手入れをし、約束通り歐洲からエミリーを呼び寄せた。十年の經過は、彼女と一家の者に何の影響も與えず、見違える樣に成人した息子達も彼女を心から歡迎した。

ある日、休暇を得た次男のデーヴィッドが何の前ぶれもなくヘスターという妻を連れて歸つて來た。彼は酒保で働いていた彼女をひと目で好きになつて結婚したとのことだつた。ヘスターは若く美しくはあつたが、不良少女の樣ななまめかしさを持つた女だつた。エミリーはそれを鋭く感じて好意を持てなかつたし、來合せた親戚のフィリッパ老夫人も、エミリトにそつと「あの女には注意おしよ」と囁いた。

息子達はそれ〳〵隊へ歸つて行つた。ヘスターはデーヴィッドの留守中アダムの家に滯在することになつた。ある日、ヘスターがす

配役

- エミリー・ギャラテイン……イングリッド・バーグマン
- アダム・ストッダード……ウオーナー・バクスター
- ヘスター……スーザン・ヘイワード
- モリー……フエイ・レイ
- ジャック（青年）……リチャード・デニング
- デーヴィッド（青年）……ジョニー・ダウンス
- クリス（青年）……ロバート・ショウ
- フイリップ……チャールス・リンド
- ジャック（少年）……ビリー・レイ
- デーヴィッド（少年）……ステイーヴン・ミラー
- クリス（少年）……ウオーレス・チャッドウエル
- フイリップ……ボビイ・ワルバーグ
- カズン・フイリッパ……ヘレン・ウエストリー
- ヴァンス……ジューン・ロックハート
- オットー……ピエトロ・ソッソ
- 醫師レーン……ギルバート・エミリー

た。

フランシーは知識慾の盛んな少女だつた。圖書館へ行くと、理解出來ない本でもカード順に片つぱしから讀んだりする。學校でもいろんな質問をするのだが、先生は煩さがつて敎えてくれない。彼女は父親に頼んで、母の反對を押しきつて轉校させて貰つた。

簡易保險の集金人から、姉のシシーが妊娠したと聞かされたケーティは、以前の氣まずい別れを氣にしていたことゝて、又遊びに來てくれる樣に言づけてやつた。ケーティもその時自分の妊娠に氣づいていたからだ。彼女は子供を產むことが心配だつた。子供が出來れば當分働けない。誰が家計をみてゆくのだろう。

クリスマスには、母親も、シシーも、その新しい夫もやつて來た。ケーティはその日夫に始めて妊娠を打明けた。そして出產間近かになつたら、フランシーを退學させて働かせなくてはならないと言つた。ジョニーは勉强好きな娘を退學させるに忍びなかつた。俺がうんと働いてみせる、と例によつて夢みたいな事を云い出したので、ケーティは又腹を立てた。

ジョニーは一生懸命仕事口を探して歩いた。だがある日彼は出先で卒倒して病院へ運ばれた。急性肺炎でその上アルコール中毒だつたので、彼はあつけなく死んでしまつた。葬式の時、淨山の人達が會葬に來てくれた。名もない人生の失敗者の夫の死が、多くの人に悲しまれたことはケーティにとつて意外であつた。ジョニーは甲斐性なしでも、皆に愛され喜ばれていたのだ、それなのに夫に不滿ばかり抱いていたことが、ケーティには反省させられるのだ。夫の知合の酒場の主人が、フランシーとニーリイを學校がひけてから働きに寄越しなさいと申し出た時には嬉しかつた。そうすればフランシーを退學させないで濟むからだつた。



父を失つたフランシーの悲しみは深かつた。それと共に、生前の父を罵つていた母親が益〻厭になつた。彼女はお得意の作文に父の追憶を綴つたりした。

母の出產の日、陣痛に惱む母の頼みで、フランシーは父の事を書いた作文を讀んできかせた。「父は貧しい失敗者でした。でも父は皆に樂しさを王樣のようにふりまきました」それを聞いたケーティは泣いた。

「そうだ、そうだ、あの人は皆さんから可愛がられた、いまあの人がいてくれたら――」

そう云う母を見てフランシーは、母も亦父を愛していたのだと知つた。母は、もし男なら父の名のジョニーとつけるし、女なら、いつか父が歌つた民謠の中の娘の名のアニー・ローリーという名前をつけて、ジョニーを偲ぶことにする積りだと云つた時、フランシーはすつかり嬉しくなつた。弟のニーリイの知らせで、祖母さんとシシー伯母さんがお產にかけつけて來てくれた。產れたのは女の子だつた。

庭の切られた樹の根から、春になつて、父が云つた通りに芽がふいた。そしてフランシーとニーリイは小學校を卒業する日を迎えた。その日彼女は、死んだ父の書いたお祝いのカードと花束を、伯母さんから貰つた。父は死ぬ前に伯母さんに花束のお金とカードを渡していたのだ。フランシーは父親の溫い愛情に泣けて泣けて仕方がなかつた。彼女は優等で卒業した。そして皆とアイス・クリームを飲んだ時、給仕にチップをやるほど喜んでいた。家へ歸ると警官のマクシェーンが、產れた赤ん坊の守りをしていてくれた。彼は妻を亡くしていたが、適當な月日が經つたら、結婚してくれないか、とケーティに頼んだ。子供等も承知したので、彼女はその頼みを受け入れることにした。フランシーは幸福だつた。樹は芽を吹いた。赤ん坊には新しい父親が出來た。しかも弟に「あたしは美人？」ときいたら弟は「まあ合格だね」と云つてくれたので全く嬉しくなつた。

Studio News

★セルズニツク・プロダクシヨン

▽ウイリアム・デイーターレは、セルズニツクの次回作品「ヘンツオーのルパート」を監督する。この映画にはセルズニツクがイタリーから招いた新しいスターのアリダ・ヴアリ（目下「パラダイン事件」に出演中）とジヨゼフ・コツトンと、ルイ・ジヨールダンが主演する筈。

★二十世紀フオツクス社

▽ヴイクター・マクラグレンは五年ぶりで二十世紀フオツクス映画に出演する。映画は近く開始されるレツクス・ハリスン主演の「ハアローの狐たち」"The Foxes of Harrow" である。

▽ドロシー・マツガイアーはエリア・カザンが近く監督するローラ・Z・ホブスン原作の「紳士協約」"Gentleman's Agreement" のヒロインと決定した。主役はグレゴリー・ペツクである。

▽前號に報道した「ノースサイド七七七を呼べ」にはヘンリー・フオンダが主役に加えられた。

▽ヘンリー・ハサウエイは「死の接吻」"The Kiss of Death" の監督を開始した。紐育で全篇が撮影される筈で、ヴイクター・メイチユア、パトリシア・モリスン、ブライアン・ドンレヴイー、コリーン・グレイ其の他に紐育劇壇の人々が動員される。

★ユニヴアーサル・インタナシヨナル社

▽ウオルター・ウエインジヤー作品、スーザン・ヘイワード、ロバート・カミングス主演の「失われた戀」"The Lost Love" が開始された。アグネス・ムーアヘツド、ジヨーン・ロアリングも主要な役を演じる。監督はマーテイン・ゲイベル。

▽ロバート・モンゴメリーは、製作者、監督、スターとしてUI社と長期契約を結んだ。第一回作品は未定である。

★ユナイテツド・アーチスツ社

▽製作者サム・ビシヨフは、UAから四本の作品を發賣する契約をした。そのうち三本はジヨージ・ラフト主演映画で、一本はデイツク・ポーエル主演映画である。ラフトの第一回作品はエドワード・マリンの監督する「陰謀」"Intrigue" で近く撮影が開始される。ポーエルはシドニー・ランフイールドの監督する「陥穽」"The Pitfall" に五月中旬から着手する筈である。

★ウオーナー・ブラザース社

△ハムフリー・ボガートはウオルター・ヒユーストンと共演して「シエラ・マドレの寶」"Treasure of Sierra Madre" に主演中である。監督はヒユーストンの息子のジヨン・ヒユーストン。シエラ・マドレとはメキシコの北部にある山脈の名である。

△エロール・フリンは近くジーン・ネグレスコの監督する「ドン・フアンの冒險」"The Adventures of Don Juan" に主演する。

▽マーク・ヘリンジャーの製作した「二人のキヤロール夫人」"The Two Mrs. Carrolls" が發賣された。ハムフリー・ボガート、バーバラ・スタンウイツク、アレキシス・スミスが主演し、ピーター・ゴツドフリーが監督した映画である。



二十世紀フオツクス映画

ブルツクリン横丁

A Tree Grows In Brooklyn

ブルツクリンの貧民街に咲いた心暖まる物語――フイルム・デイリー誌選出45年度ベスト・テンの2位を得た佳作！

解説

原作は**ベテイ・スミス**の處女作で、出版後忽ちベスト・セラーとなつた心温る物語である。製作は、「ベンガルの槍騎兵」「永遠に愛せよ」「アダノの鐘」の製作者**ルイス・D・ライトン**。監督**エリア・カザン**は、ニュー・ヨークの有能な若手舞臺演出家で、特に招かれてこの映画の監督に當つた。脚色は「大地」の**テス・スレシンガー**と**フランク・デーヴイス**の二人で、彼等はこの映画に依つてフイルムドム・フエイマス・フアイヴに選ばれた。撮影監督は「白い友情」「浪費者」「暗黒街の彈痕」等の**レオン・シヤムローイ**。**アルフレツド・ニユーマン**の音樂は效果的である。この映画はフイルム・デイリー社の四五年ベスト・テンの第二位に擧げられている。

主演は舞臺出身の**ドロシー・マツガイア**、「幻の家」で紹介された新人であるが「クローディア」「螺旋階段」等に主演した。又珍しく**ジヨーン・ブロンデル**が出ているが、彼女は「民衆の敵」「ゴールド・ディガース一九三七年」「彈丸か投票か」に主演したが最近は大作「冒險」にも出演している。**ジエームス・ダン**は夢想家の心優しい給仕に扮して、四五年度のアカデミー助演男優演技賞を獲得した。「ジエーン・エア」「王國の鍵」の少女俳優**ペギー・アン・ガーナー**はアカデミー特別賞を與えられた。その他「Gメン」「テキサス決死隊」「旋風大尉」の**ロイド・ノーラン**、「此の虫十萬弗」の**テツド・ドナルドスン**少年、「此の虫十萬弗」「幽霊紐育を歩く」「運命の饗宴」「旋風大尉」の**ジエームス・グリースン**等が助演している。一九四五年度作品。十三巻

梗概

數十年前のブルツクリンの貧しい一家の話である――

ジヨニー・ノーランは給仕だ。だが定つた職場がある譯ではなく、臨時の仕事に雇われていくらかの賃金を得ていた。しかもその口も稀にしかない。だから妻のケーティは、貧しい家計をやりくりするために、アパートの廊下の拭掃除をして金を貰つていた。家計はほとんど妻の手で賄われていたと云つてもいゝ位だつた。從つて十三歳の娘のフランシーも十二歳の息子のニーリイも、土曜日は學校が休みなので、屑物を集めて賣つては、半分を家のために貯金せねばならなかつた。

ジヨニーは酒飲みだ。だがいつも陽氣で、世帯の苦勞にも影響されず、夢の様なことや冗談ばかりを飛ばして、誰からも愛されていた。ケーティは、仕事に疲れ切つて、甲斐性のない夫に腹が立つことが多かつた。そして子供達には、夫の様な眞似はさせないと思つていた。だが娘のフランシーは感情の豐かな少女で、母親よりは父親が好きだつた。從つてケーティも娘よりニーリイの方をひいきにする傾きがあつた。

ある土曜日のことアパートの中庭に立つていた一本の樹が切られた。それはフランシーの大好きな樹だつたので悲しかつたが、父親は「樹には芽を出す力があるもんだ、きつと春になれば芽を出すよ」と云つて慰めた。その日、ケーティの姉のシシーが訪ねて來た。彼女は今迄二度も夫を變えた女であつたが、今度も又牛乳屋をしている男と結婚するという。しかも彼女は、七年前に行方不明になつている夫と正式には離婚していないのだ。ケーティはたつた一人の姉のことだつたが、シシーの行動が子供達に惡い影響を與えることを恐れて、もう來てくれるなと言つて追い歸した。その夜、遊びに來たケーティの母は、孫達に、心を豐かにして立派な者になるために聖書やシェークスピアを讀みなさいと云つてから、ケーティに「お前はシシーに惡いことをしたね、間違いだよ。お前はだんだん情しになつて來た」と云つた。その言葉はケーティを反省させた。だからその夜は珍らしく、遲くまで夫の歸りを起きて待つていた。そして昔の様な夫婦愛を取戻そうと思つたが、夫が例によつて夢の様な事を云つたので、再び腹を立てゝしまつた。氣揃い思いで外出したジヨニーは翌朝泥醉して巡査のマクシエーンに伴われて歸つて來

配役

ケーテイ	ドロシー・マツガイア
シシー伯母さん	ジヨーン・ブロンデル
ジヨニー・ノーラン	ジエームス・ダン
マクシエーン	ロイド・ノーラン
フランシー・ノーラン	ペギー・アン・ガーナー
ニーリイ・ノーラン	テツド・ドナルドスン
マクガリテイ	ジエームス・グリースン
マクドナウ孃	ルス・ネルスン
ステイーヴ・エドワーズ	ジヨン・アレキザンダー
祖母ロムリー	フエリーク・ボロス
カーネイ	J・フアレル・マクドーナルド
ウオーターズ夫人	アデライン・デ・ウオルト・レイノルズ
バーカー	チヤールズ・ハルトン
スペンサー	ジヨージ・メルフオード
司書係	リリアン・ブロンスン
クラツケンボツクス	ジヨニー・バータス


アナタに捧ぐ美の花束！
ヒカリ固形白粉
美生堂


最高級
ミヤマ鉛筆
ミヤマ鉛筆株式會社


うむ疾患に日本ハップの
TAPECILLINE
OINTMENT
20g 15圓
タペシリン軟膏


素晴らしいツキとノビ
青春を射る色と香り
貴女のすべてに眞實の美を生む新しい魅力
ナリス
粉白粉
Naris
會陽化學研究所

と淋しさを知つていたので、同じ思いのローラに同情してその家に置くことにした。

その日、オリヴァー・ブラッドフォードという青年が、許婚のビアトリスを連れて來た。二人は近く結婚した上、新婚の幾日かをその家で過そうと思い下見に來たのだつた。彼等は、その家に住んだ者が總て幸福になるという傳説などに興味を感じ、豫約をして歸つて行つた。

だが二人の結婚は太平洋戰爭が勃發した爲めに延期されることになつた。オリヴァーは飛行士として應召したので、歸つてから結婚することにしたのだつた。彼は、母のヴァイオレットや彼女の再婚の夫のフレディや許婚のビアトリスに送られて出征して行つた。

「幻の家」の二人の生活は靜かに過ぎて一年たつた。ある日オリヴァーから電報が來た。家へ來るという。二人は、オリヴァーが結婚して花嫁と共に來るのだと思つたが、來たのはオリヴァーだけだつた。彼の顔の左半分は眼と脣が醜くひきつれ、元の美しい顔は失われていた。その上左手も曲つたまゝだつた。彼は南太平洋で墜落して負傷して歸つたのだが、母達が彼の不幸を餘計に意識させる樣な態度を示し、許婚のビアトリスさえ、彼の醜い顔から眼をそむけたので、失意と怒りから、世間の眼を逃れる樣にこの家へ來たのだつた。彼は部屋へ通されると、そこに閉じ籠つたまゝ口も利かなかつた。彼は絶望の末自殺しようとして拳銃を手にしたが、ローラは靜かにそれを遮つた。彼の不幸は、不幸に馴れ不幸を知つているミネット夫人とローラにはよく判つた。そして二人は普通の態度で彼を溫くもてなした。

ある日ローラの見知りごしのジョン・ヒルグローヴという盲目の音樂家が、甥に手をひかれてオリヴァーを訪ねて來た。彼も第一次大戰の時の飛行士で、墜落事故で失明した男だつた。彼はオリヴァーに、自分の經驗を語り「君は自分の中に新しく生きる才能を見つけるように努力しなくてはならない」と溫く激勵した。今迄人に會い世間に觸れるのを避けていたオリヴァーも、彼の言葉で微かな希望を持つことが出來た。

オリヴァーの心は、次第に外に向つて開きはじめ、本來の快活さを取戻しつゝあつた。それと共に、ローラの溫い態度を有難く思い、彼女といることが幸福に思えた。そうした矢先母から手紙が來て、オリヴァーを一人では置けないから、家へ歸るなり、それが出來なければ、自分達がそちらへ行くと言つて來た。オリヴァーは母達との生活は厭だつた。母達と離れている爲には結婚しなければならぬと思つて彼は突然ローラに結婚を申込んだ。ローラは彼が外のどんな女とも結婚出來ない爲めに醜い自分を選んだのだと思い、流石に憤りが湧いた。だが、彼の不幸をそれで救えると思つて承諾した。やがて村の教會でさゝやかな式が行われ、二人は「幻の家」で新婚の生活に入つた。

演奏旅行を終つて又村へ歸つて來たジョンは、二人から急用だとの手紙を受けて二人を訪問した。會つてみると、二人の顔が美しく變化したのだと告げられた。そうした不思議はある筈がないと不審に思つたジョンに二人は交々語るのだ、ローラが結婚式の夜ピアノを彈いていると、周圍が輝きわたり、オリヴァーの顔が元通り美しくなつた。その美しい夫に自分が相應しくないと悲しむローラをオリヴァーが抱いた時、彼女の顔も亦美しく變つていたのだという。

そして、それは不思議な事だが、「幻の家」の持つ神秘的な力が自分達に、肉體的な變化を起させたのだと二人は喜びに震える聲で語つた。ジョンは、愛し合つている二人の間だけで、互いが美しく見えるのだと語つていたが、二人の幸福をその儘に續けさせるために、「神の奇蹟として受けとり給え」と云つた。

だがやがて彼等の幻想が壞れる時が來た。オリヴァーの母達が訪ねて來たのだ。ジョンは、二人の喜びを消えさせぬ樣にと思つて、母達に「二人は幻覺にとらわれているが、その夢を破らない樣にしてほしい」と頼んだのにも拘わらず、母達はオリヴァーが狂氣したと思いこみ「お前もローラも、前通り美しくはない」と心ない言葉を洩してしまつた。その言葉は二人の氣持を微塵にくだいた。彼等は自分達だけが美しく變つたと思い込んでいた事を知つて、驚きと悲しみにとらえられた。

だが皆が歸つた後で二人だけになつた時、二人は自分の心の中にだけでも、互いが美しく感じられゝばいゝのだと悟つた。オリヴァーはローラを抱いて囁いた。

「君はやつぱり美しいよ」

ローラは、昔から「幻の家」に住んだ新婚者達が、幸福の想い出に名前を彫りつけた窓硝子をさすりながら云つた。「私達の名前もこゝへ彫つてもいゝわね？」

Contents for June, 1947

★

社長　橘　弘一郎　技術　小川　博
編集　大黑東洋士　美術　直木久容　木村佳光

EDITER'S NOTE

☆用紙不足から、今度雜誌の頁數が32頁制になつたが、本誌はもともと32頁を建頁としてきているから、これからも今迄通りの體裁でいける譯だ。御心配のむきもあるようだから、この點お知らせしておく。

☆深刻な用紙不足というのに低劣な雜誌が横行している。編集者である私自身できえ映画雜誌は現在數の半分以下であつていゝと思つている。唯單に好きだとか、安直に賣れるからというだけの理由で雜誌を濫作されては困るし、またいゝ雜誌はそう簡單に出來るものではない。

☆先月號でお約束したように、本號から誌面に色々と刷新を加えてみた。表紙裏を記事で充當し、扉の目次を最後の頁にもつていつた。批評の頁も設けたし、記事中の廣告を犧牲にして六號記事を增やしてみた。表紙裏は今後本誌らしい特色をもたせたいと思つている。御期待願いたい。（大黑）

アメリカ映画專門紹介誌

映画之友　6月號　第15卷・第6號　通卷・第173號

昭和21年7月30日　第三種郵便物認可
昭和22年6月1日　印刷納本
昭和22年6月5日　發行

發行者　橘　弘一郎
編集者　大黑東洋士
印刷者　小坂　孟
印刷所　大日本印刷株式會社
配給元　日本出版配給株式會社

東京都千代田區永田町2ノ1
發行所　株式會社映画世界社　電銀座5055

直接購讀は半年分75圓　1年分150圓（概算）小爲替で御送金下さい
本號1部　金17圓（送料50錢）

★

編集部への通信及連絡は下記へ
東京都千代田區有樂町1の7　糖業會館5階
映画世界社編集部　電話丸ノ内(23)3351－9

心の旅路

ロマンスの香りをたゝえて

Random Harvest

この原作！この演出！この名演技が
全巻を感激で掩う！

ロナルド・コールマン
グリア・ガースン　主演

マーヴィン・ルロイ　監督

メトロ・ゴールドウヰン・メイヤー映画

チエイムス・ヒルトンの
名作、銀幕に再現！



昭和二十一年七月三十日第三種郵便物認可　昭和二十二年六月一日印刷納本　昭和二十二年六月五日發行　第十五卷第六號　通卷第百七十三號

本號一部金十七圓（送料五十錢）

Magazine for American Movies "Eiga no Tomo" (Friend of Movies) Published Monthly by Eiga Sekaisha Ltd., One Copy 17 Yen